

■臨港地区での人流増加に向けた取り組み

- 【参考1】港湾乗降人員数・県観光統計における人流の推移
- 【参考2】港湾振興における広域連携の取組事例
- 【参考3】仙台塩釜港周辺の交通ネットワーク
- 【参考4】国内における交流人口増加に向けた新たな取組事例
- 【参考5】仙台塩釜港にかかる沿岸市町の観光・人流活性化に関連する施策

個別1：国内外クルーズ船の動向

- 【参考6】訪日外国人旅行者数の将来見通し
- 【参考7】国内外におけるクルーズ船の市場動向
- 【参考8】我が国におけるクルーズ船の寄港特性
- 【参考9】クルーズの定義・カテゴリー構造
- 【参考10】クルーズ船から小型船舶乗り換えによる国内の寄港実績
- 【参考11】スーパーヨット・メガヨットの国内外の動向
- 【参考12】仙台塩釜港における回頭水域・航路幅

個別2：プレジャーボートの適切な受入確保

- 【参考13】全国と宮城県のプレジャーボート保有率の推移
- 【参考14】全国PB実態調査から見る仙台塩釜港のPB隻数・収容能力の推移
- 【参考15】PFIによるマリーナの整備事例
- 【参考16】プレジャーボート係留料金事例（県内公共・民間施設、他県マリーナ）

個別3：港区間連携の可能性

- 【参考17】県内観光遊覧船の動向

個別4：滞留時間の増加に向けて

- 【参考18】学生ワークショップの結果

【参考1】 港湾乗降人員数・県観光統計における人流の推移①

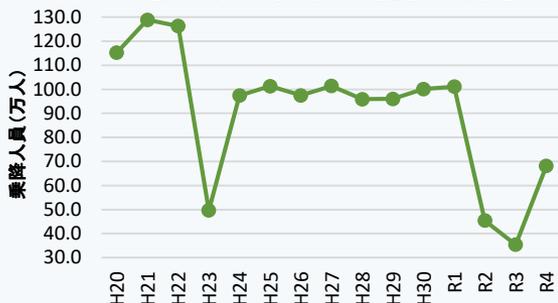
■ 仙台塩釜港の船舶乗降客数の推移

- ・仙台塩釜港の船舶乗降客数は、震災後の平成24年以降は**80万人程度**の水準で横ばいに推移していたが、令和2年に新型コロナウイルスの感染拡大により、30万人程度まで大幅に減少した。
- ・港区別に見ると、**松島港区の船舶乗降客数が約6割程度**を占めている。

船舶乗降人員年次別推移(仙台塩釜港)



船舶乗降人員年次別推移(松島港区)



船舶乗降人員年次別推移(塩釜港区)



船舶乗降人員年次別推移(仙台港区)



船舶乗降人員年次別推移(石巻港区)



仙台塩釜港の船舶乗降客数の推移

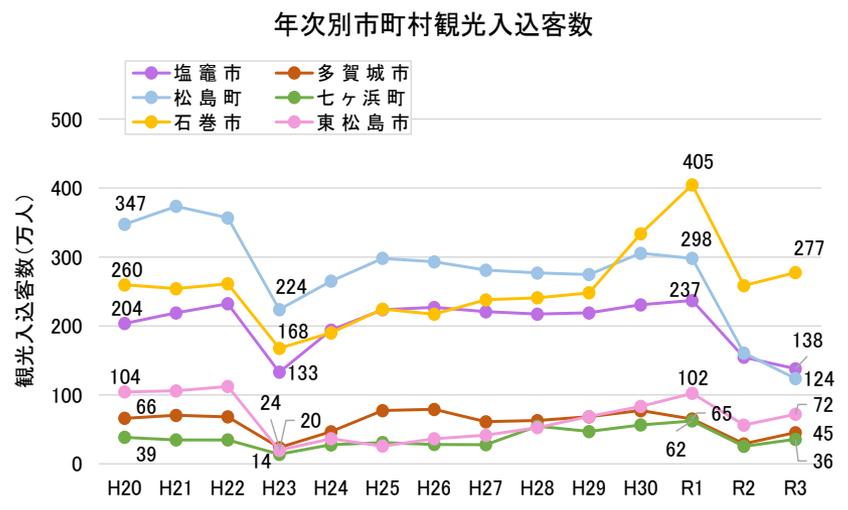
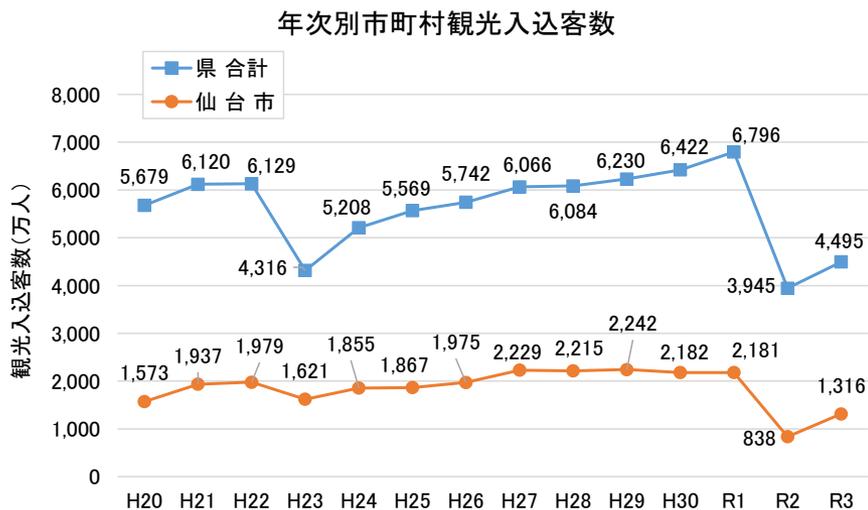
港区	実績値															割合
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
仙台港区	227,013	190,792	183,702	187,097	244,513	230,490	226,918	238,604	217,035	209,373	209,676	230,828	103,709	109,138	158,491	15%
塩釜港区	478,511	479,988	488,146	174,494	436,800	385,546	371,574	391,445	334,216	326,424	311,855	297,947	160,523	180,546	178,814	16%
松島港区	1,152,090	1,288,798	1,262,973	496,188	974,070	1,013,133	974,787	1,013,510	959,181	960,157	1,000,879	1,011,218	454,046	354,068	681,043	63%
石巻港区	45,364	50,165	76,234	27,392	33,752	46,694	51,678	66,612	67,526	62,683	66,289	71,598	40,262	38,416	66,560	6%
仙台塩釜港全体	1,902,978	2,009,743	2,011,055	885,171	1,689,135	1,675,863	1,624,957	1,710,171	1,577,958	1,558,637	1,588,699	1,611,591	758,540	682,168	1,084,908	100%

資料: 宮城県の港湾統計より作成(令和4年は速報値)

【参考1】 港湾乗降人員数・県観光統計における人流の推移②

■宮城県及び仙台塩釜港背後市町の観光入込客数の推移

- ・宮城県の観光入れ込み客数は、震災後の平成24年から増加傾向に推移し、**令和元年には約6,800万人を記録**したが、新型コロナウイルスの感染拡大により令和2年には約3,900万人まで減少した。
- ・市町別では、**石巻市、塩竈市、松島町が上位**となっており、新型コロナウイルスの感染拡大前の**平成30年と令和元年は石巻市が1位**を記録している。



(単位：人)

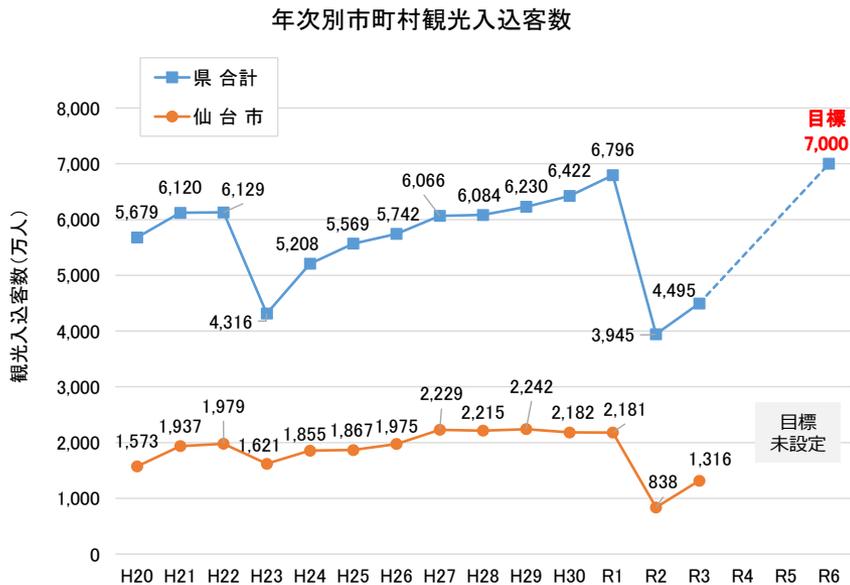
市町村名	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
県合計	56,788,646	61,203,173	61,285,934	43,157,768	52,082,052	55,690,689	57,424,462	60,655,584	60,837,636	62,296,363	64,224,486	67,960,518	39,448,031	44,945,742
仙台市	15,731,418	19,372,182	19,789,520	16,207,800	18,554,458	18,671,429	19,746,251	22,293,853	22,146,806	22,418,714	21,817,554	21,810,557	8,382,086	13,162,162
塩竈市	2,036,130	2,189,544	2,323,216	1,330,631	1,939,585	2,236,207	2,269,133	2,207,048	2,173,142	2,190,011	2,307,499	2,369,405	1,546,952	1,380,991
多賀城市	661,410	705,713	682,999	236,062	466,989	773,833	790,779	612,049	629,588	683,622	773,288	651,089	291,130	453,613
松島町	3,473,000	3,735,000	3,568,621	2,237,798	2,650,784	2,981,193	2,931,249	2,809,753	2,768,840	2,746,785	3,054,759	2,981,516	1,607,172	1,239,155
七ヶ浜町	385,966	347,890	347,799	139,275	277,510	311,059	282,227	280,131	548,523	470,877	565,361	623,994	255,341	356,753
石巻市	2,596,014	2,540,927	2,612,359	1,677,210	1,900,853	2,245,620	2,171,400	2,380,009	2,409,379	2,481,019	3,335,969	4,047,035	2,586,309	2,773,778
東松島市	1,043,991	1,060,501	1,123,233	198,658	365,103	258,567	365,540	415,534	527,870	687,147	833,893	1,023,650	563,453	720,874
その他地域	30,860,717	31,251,416	30,838,187	21,130,334	25,926,770	28,212,781	28,867,883	29,657,207	29,633,488	30,618,188	31,536,163	34,453,272	24,215,588	24,858,416

資料：宮城県経済商工観光部観光政策課「観光統計概要」より作成

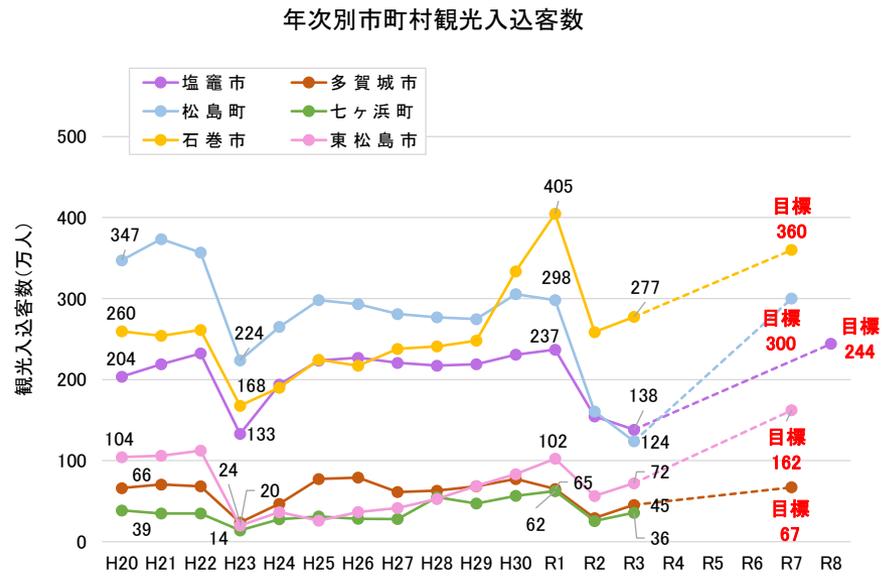
【参考1】 港湾乗降人員数・県観光統計における人流の推移③

■宮城県及び仙台塩釜港背後市町の観光入込客数の**将来目標**

- ・宮城県の観光入込客数の目標値は令和6年に**7,000万人**であり、新型コロナウイルスの感染拡大前の**令和元年水準以上**を目指すものである。
- ・市町別の観光入込客数の目標では、新型コロナウイルスの感染拡大前の令和元年時点において、**石巻市は達成、松島町・塩竈市でもほぼ達成**という状況であった。 ※仙台市及び七ヶ浜町は目標未設定



資料：宮城県経済商工観光部観光政策課「観光統計概要」、
「新・宮城の将来ビジョン実施計画（前期：令和3年度～令和6年度）」より作成

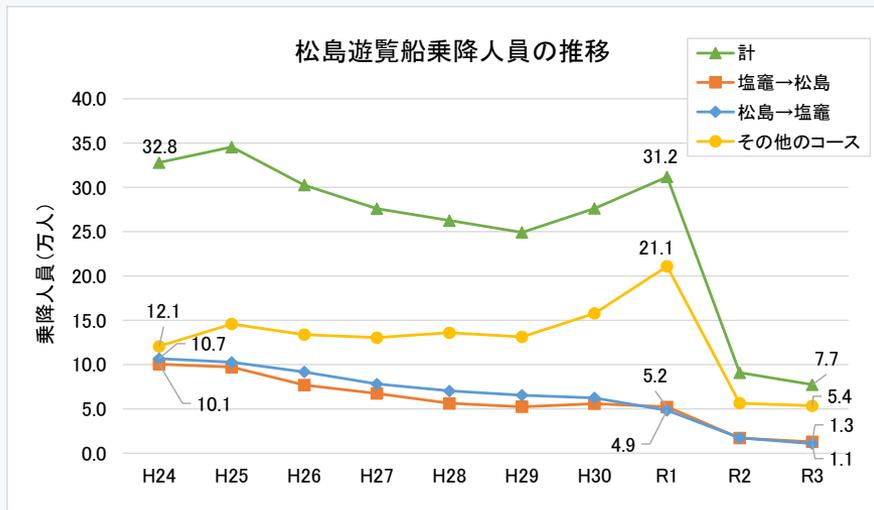


資料：宮城県経済商工観光部観光政策課「観光統計概要」、「第6次塩竈市長期総合計画」、
「第二次多賀城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「松島町長期総合計画後期基本計画2021-2025」、
「第2次石巻市総合計画実施計画（令和4年度～令和6年度）」、
「東松島市第2次総合計画後期基本計画（令和3年度～令和7年度）」より作成

【参考1】 港湾乗降人員数・県観光統計における人流の推移④

■ 松島遊覧船及び浦戸諸島定期航路の乗降人員の推移 ※塩竈市統計データ

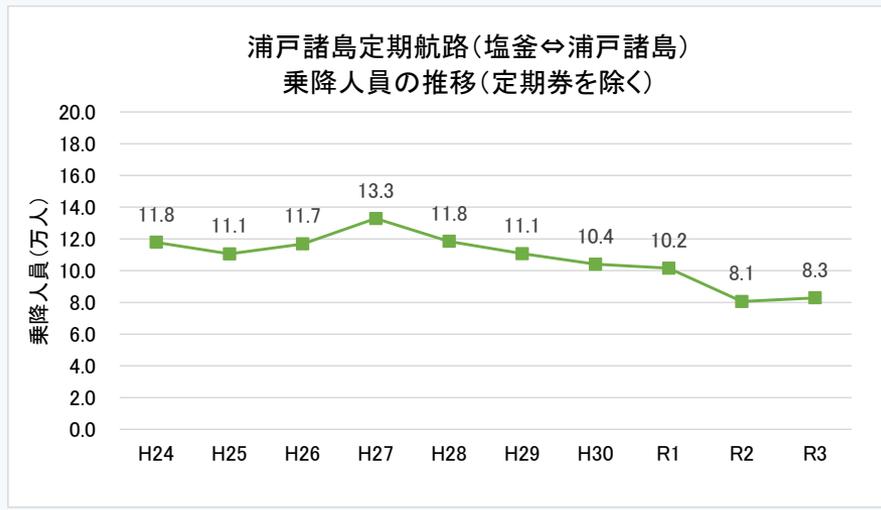
- 松島遊覧船の乗降人員は、平成25年から減少傾向に推移していたが、**平成29年から増加傾向に転じ、31.2万まで回復した**。その後、新型コロナウイルスの感染拡大により令和2年に7.7万人まで減少している。
- 浦戸諸島の定期航路は、**平成27年以降に減少傾向に推移し**、新型コロナウイルスの感染拡大もあり令和2年には8.1万人まで減少したが、令和3年に8.3万人まで回復している。離島航路は生活航路として活用されていることから、新型コロナウイルスの感染拡大は観光遊覧船よりは顕著ではなかった。



(単位: 人)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
計	327,964	345,513	302,549	276,039	262,667	249,281	276,203	311,750	90,922	77,374
塩竈→松島	100,561	97,144	76,955	67,429	56,329	52,496	55,959	52,285	17,115	12,863
松島→塩竈	106,744	102,593	91,773	78,165	70,406	65,454	62,418	48,508	17,342	10,869

※塩竈、松島間及び嵯峨浜、大高森コースの数値
資料: 塩竈市統計書より作成



(単位: 人)

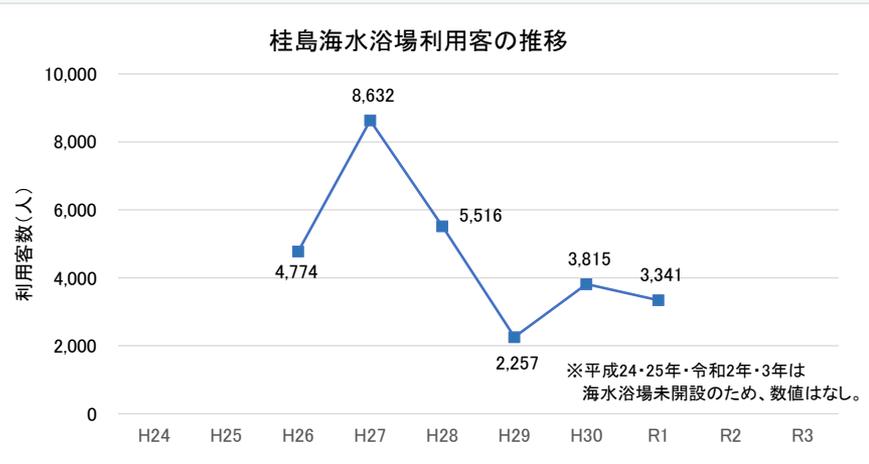
区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
塩竈⇄浦戸諸島	117,864	110,566	116,848	132,845	118,457	110,719	104,065	101,538	80,554	82,893

資料: 塩竈市統計書より作成

【参考1】 港湾乗降人員数・県観光統計における人流の推移⑤

■浦戸諸島内の海水浴場・民宿利用者数の推移 ※塩竈市統計データ

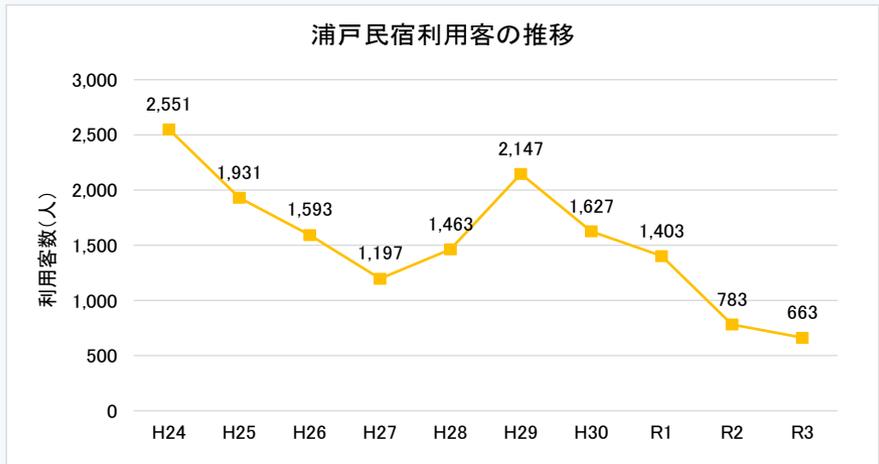
- ・浦戸諸島内において海水浴場が開設されているのは桂島海水浴場のみである。現在、寒風沢及び野々島の海水浴場は閉鎖されている。
- ・桂島海水浴場の利用者数は、平成27年に約9千人のピークを迎えたが、減少・増加を繰り返して**令和元年は約3千人**であった。
- ・浦戸諸島の民宿の利用者数は、平成27年から増加傾向に推移していたが、平成29年から減少傾向に転じ、**令和3年には新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり約7百人まで減少**している。



(単位：人)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
合計			4,774	8,632	5,516	2,257	3,815	3,341		
桂島海水浴場			4,774	8,632	5,516	2,257	3,815	3,341		
寒風沢海水浴場	←				閉鎖					→
野々島海水浴場	←				閉鎖					→

※平成24・25年・令和2年・3年は海水浴場未開設のため、数値はなし
資料：塩竈市統計書より作成



(単位：人)

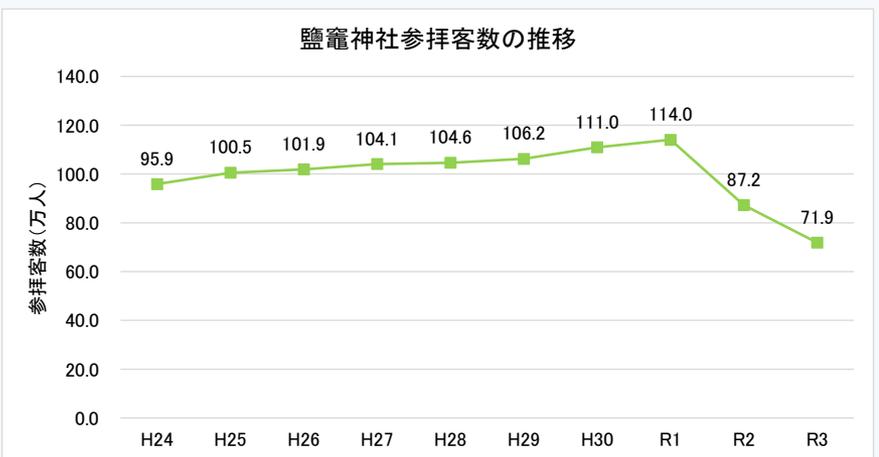
区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
合計	2,551	1,931	1,593	1,197	1,463	2,147	1,627	1,403	783	663

※日帰り利用者も含む
資料：塩竈市統計書より作成

【参考1】 港湾乗降人員数・県観光統計における人流の推移⑥

■ 鹽竈神社・マリゲート塩釜の利用者数の推移 ※塩竈市統計データ

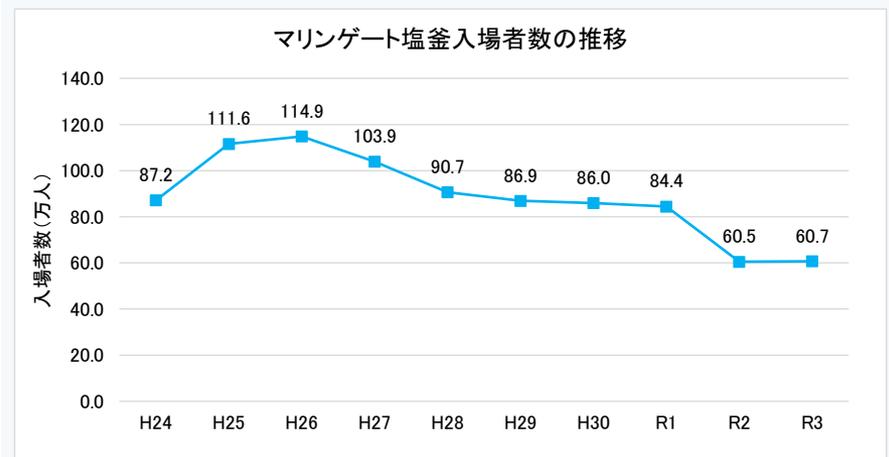
- ・鹽竈神社の参拝客数は、震災後の平成24年から緩やかに増加しており、**令和元年には114万人まで増加**したが、新型コロナウイルスの感染拡大により令和3年には72万人まで減少した。
- ・マリゲート塩釜の入場者数は、平成26年の115万人をピークに減少傾向でとなり、**令和元年には84万人まで減少**した。その後、新型コロナウイルスの感染拡大により、令和3年には61万人まで減少している。



(単位：人)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
合計	959,000	1,005,300	1,019,200	1,041,000	1,046,000	1,062,400	1,109,700	1,140,200	872,300	718,900

※平成24年からは市の推計値
資料：塩竈市統計書より作成



(単位：人)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
入場者数	871,800	1,116,200	1,148,600	1,039,300	906,800	869,300	859,500	844,400	604,866	607,300

資料：塩竈市統計書より作成

【参考2】 港湾振興における広域連携の取組事例

「大阪湾をつなぐ！広域型サイクル・ツーリズム計画」【隣接】

計画の概要

- 大阪府岬町、兵庫県洲本市は、深日港～洲本港間における海上交通(自転車搭載船)を活用したサイクリストの広域移動支援により、各地域ごとのサイクルルート連結、サイクリスト交流(通過)地域における交流人口の増加と、新しい人の流れによる広域的な観光振興の促進を図る。
- サイクリストの移動を支援するため、大阪湾サイクリスト移動支援事業(深日港～洲本港間における自転車搭載船の運航費用/港湾施設の借上げ費用等)、サイクリスト利便性向上事業(空気入れや工具の貸し出し、簡易な修理用品の物販、サイクルラックやコインロッカーの設置、サイクリングコースの紹介や総合案内、サイクリング普及のためのイベント実施等)、広域型サイクリングの魅力発信、知名度向上のためのプロモーション活動を共同実施。
(関連URL: <https://old.cyclesports.jp/depot/detail/98183>)

連携に至った経緯

- 大阪湾を挟んで対岸に位置し、深日港と洲本港とは、大阪湾上の最短ルートであることから、かつて、フェリーや高速艇が就航するなど、海上交通の重要な航路として状況を呈していた。しかし平成11年に航路が廃止されて以降、人の流れが途絶え、港周辺は非常に衰退した状況となっていた。
- 近年ではサイクリングを活用した「サイクル・ツーリズム」に注目が集められており、両市町においてはサイクリストに人気の高いコースを有していたことから、海の玄関口である港から人の流れを取り戻すため、「サイクル・ツーリズム」を活用した事業展開を図ることとなった。

連携のメリット・工夫

- 淡路島・四国から大阪・和歌山へと広範囲における取組を共同で推進することにより、交流人口拡大に向け高い成果が期待される。
- 国土交通省、大阪府、兵庫県、洲本市、岬町が参画する「深日港洲本港航路に関する連携協議会」を定期的に開催することで連携を深め、事業効果の測定や成果報告を行い、委員からの意見聴取し、毎年度事業に反映している。
- (広報活動など)事務負担の軽減、経費負担の軽減につながっている。

再生計画に記載されている事業

- 大阪湾をつなぐ！広域型サイクル・ツーリズム計画

活用した支援措置

- 地方創生推進交付金(内閣府)



船に積まれた自転車



海岸線のツーリング



活動開始時期	平成30年3月
計画終了時期	令和3年3月

【参考3】 仙台塩釜港周辺の交通ネットワーク



※「Ports of MIYAGI 宮城の港湾」R5.3 より抜粋

【参考4】 国内における交流人口増加に向けた新たな取組事例

■外航クルーズ船「スターブリーズ（全長159.4m）」 ～アメリカの自転車メーカーによるチャーター船～

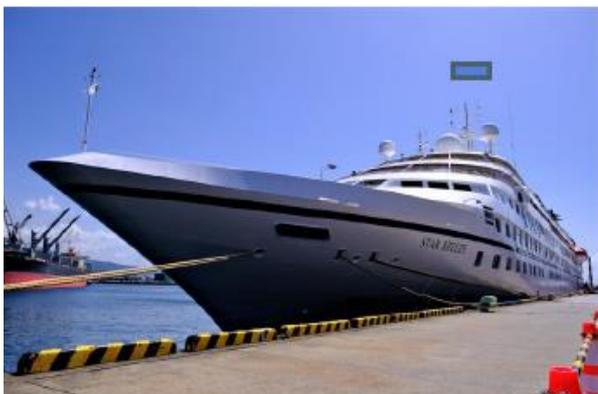
・アメリカの自転車メーカーがクルーズ船をチャーターし、自転車愛好家の乗客が自転車を持参するなどし、富士市内のサイクリングを楽しんだ。

2023年（令和5年）7月14日発行（第153号）



【田子の浦港 スターブリーズ寄港】

4月17日（月）、田子の浦港に初の外国クルーズ船スターブリーズが寄港しました。同船はアメリカの自転車メーカーによるチャーター船で、自転車愛好家の乗客は各々船に積んだ自転車で、富士市内のサイクリングを楽しんでいました。



スターブリーズ



歓迎式典の様子



自転車で出発する乗客

※国土交通省清水港湾事務所広報誌 みなとしみず（第153号2023.7.14）より

【参考5】 仙台塩釜港にかかる沿岸市町の観光・人流活性化に関連する施策

塩竈市(塩釜港区)

■ 塩竈市観光振興ビジョン

策定時期 2018.3

対象期間 2018~2025



4つの観光拠点とネットワークづくり



・4つの観光拠点と交通ネットワークイメージ

注：黒の破線は周遊バス、青色の破線は舟運を表している。

- (1) 塩竈市観光の顔となる観光拠点「鹽竈神社と門前町地区」
- (2) 「ベイエリアとマリゲート地区」
- (3) 「市場地区」
- (4) 「浦戸諸島」

2 ベイエリアとマリゲート地区

本塩釜駅から東に展開するベイエリアとマリゲート地区は、広域周遊型の松島湾観光の起点としての役割に加えて、ベイエリアの緑地や公園とマリゲートを、観光客が海辺の景観を楽しめるエリアとして位置付けます。

また、対岸の市場地区と結ぶシャトル船などの二次交通で連携して、観光客が海に触れて、水産物を買ったり、食事を楽しんだりする観光エリアとします。



コンセプト

千年の歴史と美食にであう港町・塩竈

鹽竈神社と門前町で
ご利益を授受

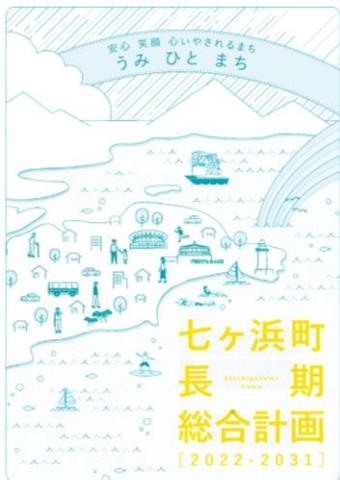
マリゲート塩釜で
海の恵みを体験

飲食店・塩釜水産物仲卸市場・
魚市場で美食体験

浦戸諸島で
ゆったり島ぐらし

【参考5】 仙台塩釜港にかかる沿岸市町の観光・人流活性化に関連する施策

七ヶ浜町(塩釜港区)



■ 七ヶ浜町長期総合計画

[2022-2031]

策定時期 2022.3

対象期間 2022～2031



【基本目標 1】 癒しの空間を共感するまちづくり

【基本目標 2】 活気を創造していくまちづくり

基本理念

七ヶ浜町のめざすべきまちづくりの基本理念を次のように定めます。
この基本理念は、町民がまちづくりに主体的に参加しながら、相互に尊重し協力し合い、家族や地域のつながりを大切に、ふるさとの歴史・文化や自然環境を守り愛着を持って、安全安心で健やかに暮らすことをめざす、その実現のための根幹的な考え方となります。

安心 笑顔 心いやされるまち



青く、波きらめく海。松風清らかに、穂波さざめき、笑顔がゆれるまち。

うみとともに、ひととともに、まちとともに。一步一步、今を歩き、一步一步、未来へ。

～うみ～
【基本目標 1】
癒しの空間を
共感する
まちづくり



本町の美しい景観や恵まれた自然環境は、自慢すべきものであり、最大のポテンシャルとも言えます。町民がこころ豊かに暮らせる、訪れた人々もいやされる、そんな理想的なまちを将来にわたって築いていきます。そのため、人々が本町の良質な環境を共感するためのアクションを展開します。また、町民が関わりながら本町の環境を持続的に管理・保護する活動を構築していきます。

～うみ～
【基本目標 2】
活気を
創造していく
まちづくり



東日本大震災の復興から、令和3年(2021年)3月で10年という節目を迎え、本町のまちづくりのステージは次の局面を迎えましたが、にぎわいや雇用の創出は、まだまだ可能性を秘めています。

将来において持続可能な農産物・海産物のブランド化を、目に見える成果としてあげていきます。本町の地域資源をいかした活気あふれるまちづくりを新たに展開していきます。

また、レジャー、マリンスポーツ、体験型観光、地域資源の魅力を積極的に発信するなど、関係人口の増加による活性化を促進します。

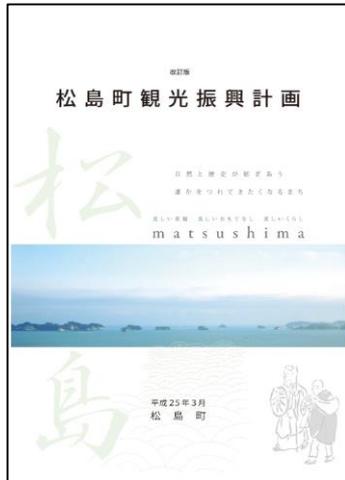
【参考5】 仙台塩釜港にかかる沿岸市町の観光・人流活性化に関連する施策

松島町(松島港区)

■ 松島町観光振興計画

策定時期 2013.3

対象期間 2013~2022



(1) 松島らしい落ち着いた雰囲気構成する要素とは

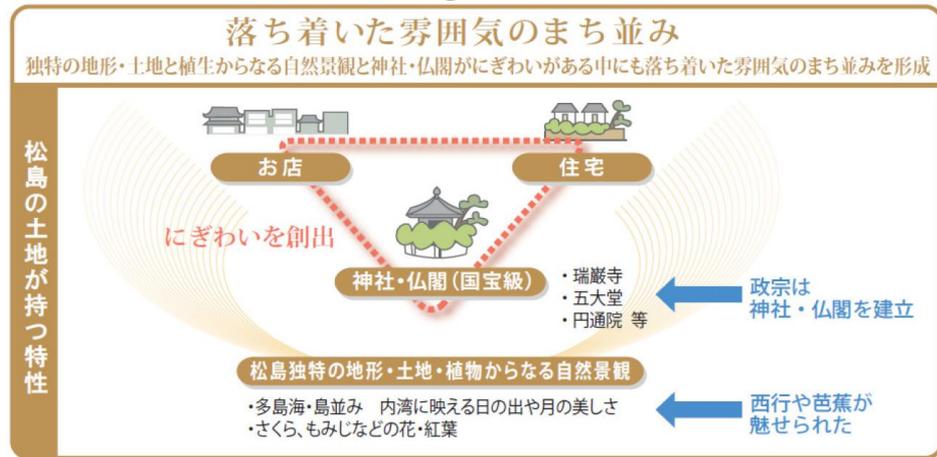
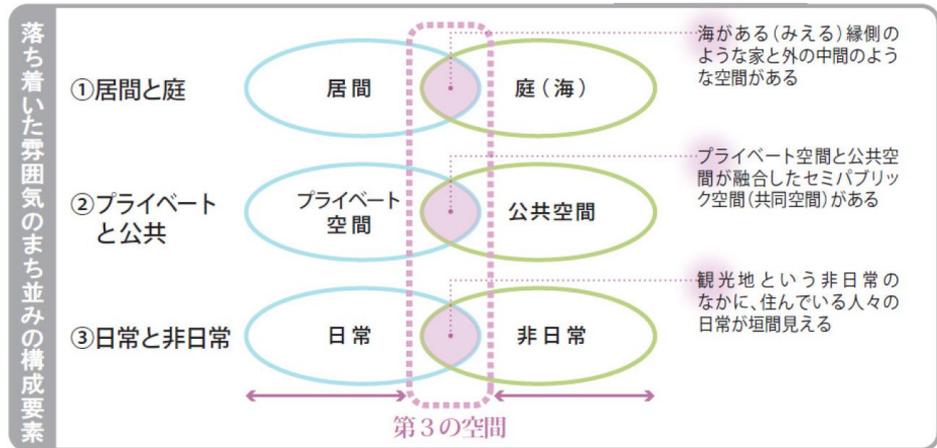
松島は、人工的につくりあげられた公園や遊園地では到底実現できない松島独特の地形・土地の上に独特な植生からなる自然景観が基盤となり、数多くの歴史的・文化的資源や、それらをもとに長い歴史を刻んだまち並みが存在することが松島らしい落ち着いた雰囲気を構成する要素となっている。

松島の魅力は、①多島海景観をまるで居間や縁側から庭を眺めるようにみることができるところにあり、それは、②プライベート空間と公共空間の融合した空間から醸し出されている。また、そのような土地柄に生活する③松島の人々の日常と、観光地としての非日常が融合していることも松島らしさの創出に繋がっている。

(2) 松島観光のセールスコンセプト

松島の観光を振興するためのセールスコンセプトは、①多島海景観をまるで居間や縁側から庭を眺めるようにみることができる、②プライベート空間と公共空間の融合した空間が醸し出されている、③松島の人々の日常と、観光地としての非日常が融合しているという3つの特徴を上手に演出して、来訪者も町民も「誰もが心安らぎ癒される第三の空間」を創出し、松島全体が公園のようなパブリックスペースが充実した観光地として売り出していくことである。

そのためには、以下のような贅沢な時間の過ごし方を観光サービスとして提供するとともに、松島の土地が持つ特性を生かし、贅沢な時間を使う場を街中にたくさん創出していくことが重要となる。



将来像
自然と歴史が紡ぎあう 誰かを連れてきたくなるまち

キャッチフレーズ
美しい景観 美しいおもてなし 美しい暮らし

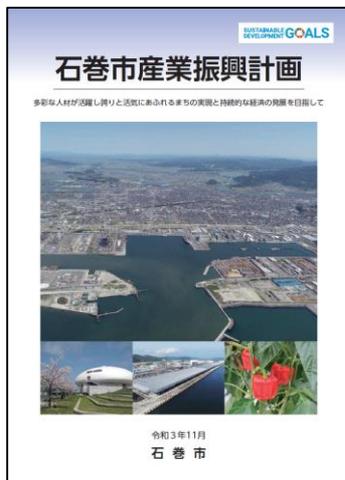
【参考5】 仙台塩釜港にかかる沿岸市町の観光・人流活性化に関連する施策

石巻市(石巻港区)

■石巻市産業振興計画

策定時期 2021.11

対象期間 2021～2030



ブランドイメージ

多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち

施策4：地域資源を活かした観光事業の振興

目標指標

【KGI】	目標指標	単位	現状値 令和元年度	目標値 令和7年度	目標値 令和12年度
施策4	観光客入込数	人	4,047,035	3,600,000	4,596,000

【KPI】	目標指標	単位	現状値 令和元年度	目標値 令和7年度	目標値 令和12年度
(1) 地域資源を活用した観光誘客を推進する	宿泊観光客数	人	246,599	247,800	275,760
	石ノ森漫画館入館者数	人	229,633	223,733	247,814
	サン・ファンパーク入場者数	人	84,976	88,900	91,800
	道の駅「上品の郷」入込客数	人	953,627	1,050,000	1,050,000
	道の駅「視上の里おがつ」入込客数	人	46,754	50,000	50,000
	北上観光物産交流センター入場者数	人	18,118	18,200	18,200
	「ホエールタウンおしか」入場者数	人	13,330	89,000	89,000
(2) 観光振興体制を構築する	フェイスブックフォロワー数	人	3,232	3,500	4,000
	インスタグラムフォロワー数	人	675	1,200	1,500

(1) 地域資源を活用した観光誘客を推進する

- ①豊かな自然や多彩な食材、文化、イベント、伝統産業など地域の多様な資源を活かして、観光の魅力づくりを推進し、交流人口の拡大を図ります。
 - ・海水浴場やキャンプ施設の利用促進を図り、自然を活かした観光推進に取り組みます。
- ②石巻港に寄港する大型客船や仙台空港からのインバウンドの誘客を推進します。
 - ・港湾利用者や船会社等に対する積極的なポートセールス活動を実施します。
 - ・大型客船寄港時に臨時観光案内所の設置やキャッシュレス化の推進など、街なかインバウンド推進ネットワークと連携し観光客の周遊促進、満足度の向上さらにキャッシュレス決済の導入促進に努め、利便性の向上を図ります。



MSCベリッシマ（総トン数171,598t 長さ315m）

令和5年8月3日寄港（仙台塩釜港石巻港区 雲雀野中央埠頭）

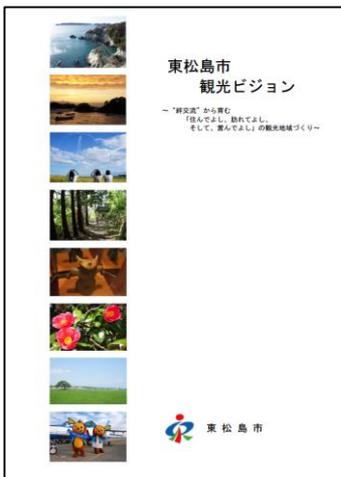
【参考5】 仙台塩釜港にかかる沿岸市町の観光・人流活性化に関連する施策

東松島市(石巻港区)

東松島市観光ビジョン

策定時期 2015.3

対象期間 2015～2024



“絆交流”から育む
「住んでよし、訪れてよし、そして、営んでよし」の観光地域づくり

【将来像】

観光をキーワードに、市民、地域、事業者、団体、観光客、行政等、さまざまな主体がつながり、現在ある多くの活動の芽が開き、「オール東松島スタイル」で東松島が輝いています。

市内の多様な観光資源がつながり、東松島全体の魅力が向上するとともに、周辺地域との連携も強化され、より多くの観光客が訪れています。

被災地支援で生まれたつながりがより強固なものになり、全国的にも観光地・東松島が認知されています。

<取組のキャッチフレーズ>

観光の芽 みんなで咲かそう 東松島

四季折々・時間の移り変わりとともに表情を変え、人々を魅了する奥松島の景観



大高森（宮戸地区）

展望台からは、蔵王連峰を従えた美しい松島湾と広大な太平洋が一望できる。夕陽に染まる松島湾は、日中とは違いとても幻想的な表情をみせる。

嵯峨渓（宮戸地区）

太平洋の荒波と風雨に浸食されてきた海蝕崖。松島湾とは対照的な男性的な景観を望める。遊覧船からは、間近から見上げる大迫力の光景を目の当たりにできる。



ハイキングコースや大高森周辺では四季折々の風景が楽しめる。

大自然の恵みを五感で楽しむ体験メニュー



豊かな海を活かした体験（宮戸地区）

現役漁師と楽しむ漁業体験、シーカヤック等大自然を活かした体験メニューが豊富に楽しめる。

観光振興にあたっては、以下の3つの柱（基本方針）に基づき、展開していきます。

震災からの復興とともに
みんなで進める
観光まちづくり

絆を育み、
「縁」を結ぶ
観光交流の促進

多様な連携により
地域を潤す
観光産業の振興

【参考5】 仙台塩釜港にかかる沿岸市町の観光・人流活性化に関連する施策

仙台市(仙台港区)

■ 仙台市交流人口ビジネス

活性化戦略2024

策定時期 2022.3

対象期間 2022～2024

仙台市交流人口ビジネス
活性化戦略2024

2022年3月
仙台市

目指す姿

交流人口で「潤う」都市

- 旅行消費の拡大による地域経済の活性化
- 交流人口ビジネスの発展と経済循環・雇用創出

重点プロジェクト

エリア別ブランディング
プロジェクト

TOHOKU as ONE
プロジェクト

インバウンド&MICE
強化プロジェクト

「観光×デジタル」
プロジェクト

交流人口ビジネス
事業者連携プロジェクト

質を重視した施策展開

効果的・効率的に
施策を推進し、
経済効果を
広く波及

重点プロジェクト

1

エリア別ブランディング プロジェクト

「歴史」「文化」「自然」「人」など、地域の多種多様な魅力を活かしたブランディングを行い、多様な楽しみ方ができる仙台を演出し、『ずっと居たい、また来たい仙台』を目指す。



施策1 地域の特徴を活かしたブランディング

仙台の地域ごとの特徴や多種多様な魅力を最大限活用するため、エリアごとの特徴や魅力を深掘し、コンセプトづくりを進め、地域ブランディングを行うことにより、誘客促進、滞在期間の延長、再訪率の向上を図る。

【主な事業】

① エリア別ブランディング

シンポジウムや勉強会の開催等、事業者等と認識を共有し、各エリアの特徴を活かしたブランディングを行う場を設定し、ブランディングに合わせた観光コンテンツの創出や効果的なプロモーション等に繋げる。

(西部エリア)

地域の事業者や観光地域おこし協力隊などと連携し、西部エリアが持つ「温泉」や「自然」などの魅力を活かした体験型コンテンツの創出やナイトイベントの開催など、西部コンテンツの創出やイベントを実施する。

(東部エリア)

東日本大震災の記憶の継承と発信を行うとともに、貞山運河をはじめとした地域の豊かな自然など魅力ある資源を活用するほか、沿岸部の特性・魅力をネットワーク化し、同地域における持続的な賑わいづくりを進める。

(中心部エリア)

仙台駅周辺の魅力向上や情報発信機能の充実のほか、仙台を代表する祭りなどの大型イベント開催支援、中心部商店街における夜市の開催などにより、仙台・東北の玄関口の賑わいづくり、繁華街として昼夜問わず多くの人が訪れる取組みを実施する。

ねらい

- エリアの特徴をわかりやすく発信することによる誘客促進
- 未訪問エリアへの訪問意欲創出
- ブランディングに合わせたコンテンツの創出と利用促進による滞在時間や日数の延長・再訪率の向上

【参考5】 仙台塩釜港にかかる沿岸市町の観光・人流活性化に関連する施策

多賀城市(仙台港区・塩釜港区)

■ 第二次多賀城市まち・ひと・しごと創成総合戦略
 策定時期 2021.2
 対象期間 2021~2025



1 雇用創出 2 人の流れ 4 地域連携

施策 05-03 地域資源を活用した賑わいの創出

施策の目指す姿(政策を実現するために、この施策が目指す多賀城市の将来の姿)
 本市ならではの魅力的な資源の付加価値を高めることで、観光客が増加し、賑わいを創り出すことができます。

施策の指標(施策の目指す姿にどの程度近づいているかを測る指標)

指標名	区分	前期基準値	前期目標値	取得	説明
① まちに賑わいがあると感じる市民割合	成果	27.5% (R2)	↗	市ア	市民のまちの賑わいに対する認識を見る指標です。
② 観光客入込数	成果	651千人/年 (H31)	670千人/年	業務	市内の観光地や観光施設を訪れた客数、市内イベントの参加者数及び市内宿泊者数の総数で、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に基づくものです。

・平成28年度に「政宗が育んだ“伊達”な文化」が日本遺産に認定され、平成31年度にトレッキングルート「みちのく潮風トレイル」が全線開通し、広域観光の視点は、今後ますます重要性を増す見込みです。



※多賀城市観光協会HPより

憩い・集いの水辺空間
 ~滞留時間の増加に向けて~
 ウォーターフロント

港区間の連携

陸路ネットワーク



みちのく潮風トレイル
 Michinoku Coastal Trail
 [塩竈市(市街地)~多賀城市~仙台市]

【参考6】訪日外国人旅行者数の将来見通し

- 観光庁は、平成28年3月に「明日の日本を支える観光ビジョンー世界が訪れたい日本へー」において、**2030年に訪日外国人旅行者数6,000万人の目標**を掲げている。**2019年には過去最高の3,188.2万人を記録**。
- その後、2023年1月「新たな観光立国推進基本計画に向けて」より、訪日外国人旅行者数は新型コロナウイルスの感染拡大により2021年は2019年比の約1%にまで激減したが、2023年2月現在では水際対策も緩和され、2022年には2019年比の約12%まで回復した。
- アフターコロナのインバウンドの回復については、**2025年にピーク時の2019年の水準まで回復することを目標**としている。

訪日外国人旅行者数

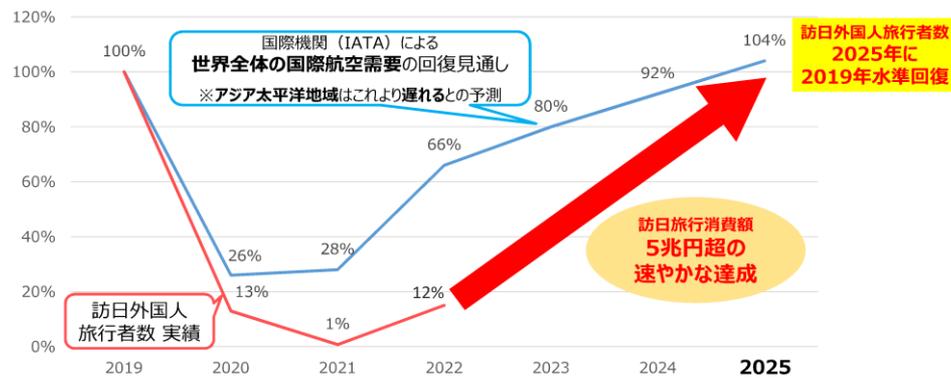
2020年:4,000万人

2030年:6,000万人

- 観光先進国という新たなステージへ進むためには、2020年に2000万人という目標に満足することなく、さらなる高みを目指す必要がある。
このため、訪日外国人旅行者数については、2020年には約2倍となる4000万人、2030年には約3倍となる6000万人を目指す。

※出典：現行基本計画と観光ビジョンの目標と関連施策（平成28年10月27日）観光庁

訪日外国人旅行者数
(2019年比の割合)



※出典：「新たな観光立国推進基本計画に向けて」（2023年1月16日）観光庁

出典：IATA メディアリリース、JNTO「訪日外客数」

仙台空港 国際線 乗降客数



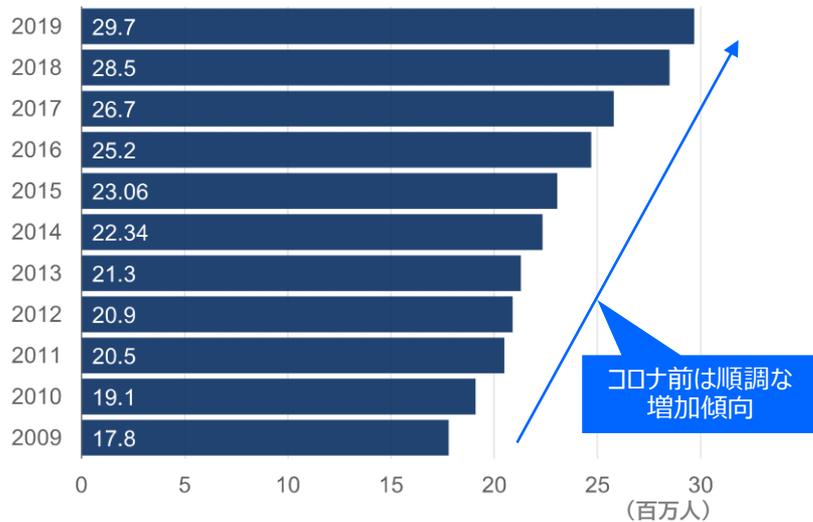
資料：「空港管理状況調査」国交省

【参考7】 国内外におけるクルーズ船の市場動向①

■世界のクルーズ船の市場動向

- 世界のクルーズ人口は年々増加傾向に推移しており、新型コロナウイルスが拡大する前の**2019年には2970万人まで増加した**。CLIA(クルーズライン国際協会)によると、**2027年には2019年の約1.3倍の3950万人まで増加する見通し**である。
- 地域別に見ると、**北欧が最も多く全体の約52%を占める**。次いで、**欧州、アジア、オセアニアが多い状況**となっている。
- クルーズの目的地別の傾向で見ると、**アジアの平均クルーズ日数は4日未満**であり、**比較的短期のクルーズが主流**である。

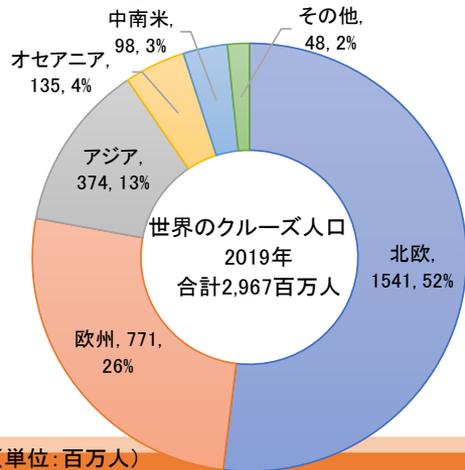
世界のクルーズ人口の推移



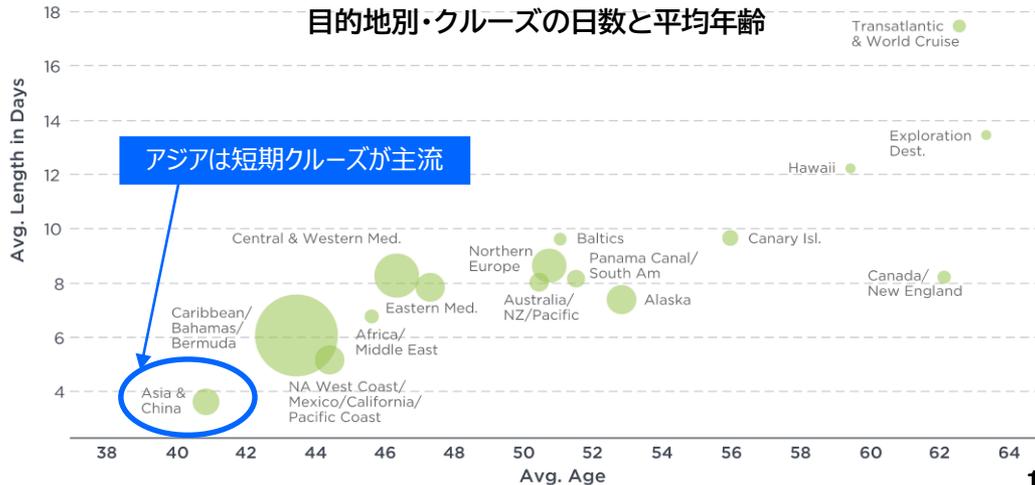
世界のクルーズ人口の将来見通し



地域別のクルーズ人口(2019)



目的地別・クルーズの日数と平均年齢

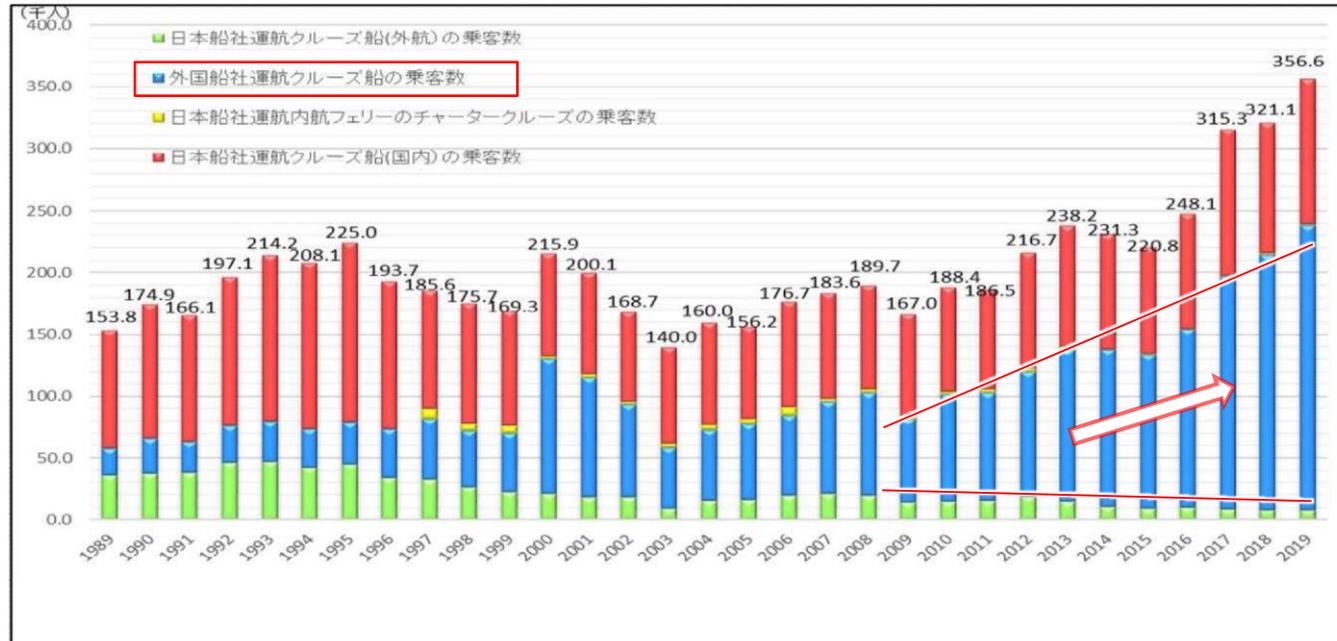


【参考7】 国内外におけるクルーズ船の市場動向②

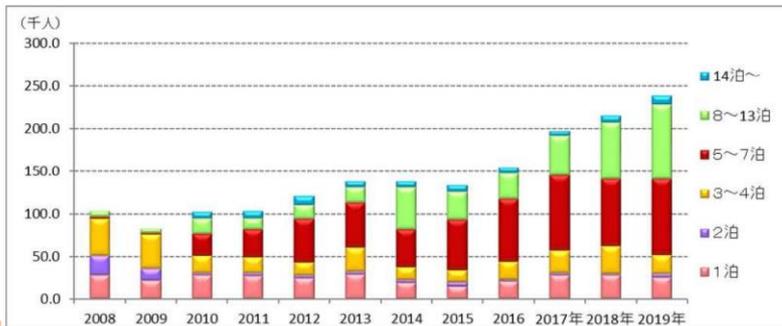
■ 外航クルーズ・内航クルーズの乗客数の傾向

- ・クルーズ船を利用する日本人乗客数は、2003年から増加傾向に推移しており、特に外国船社の運航クルーズ船の伸びが大きい。
- ・外航クルーズは宿泊日数では5～13泊の比較的長期の乗客数が多い一方で、国内クルーズは1泊～4泊までの比較的短期の乗客数が多い傾向にある。

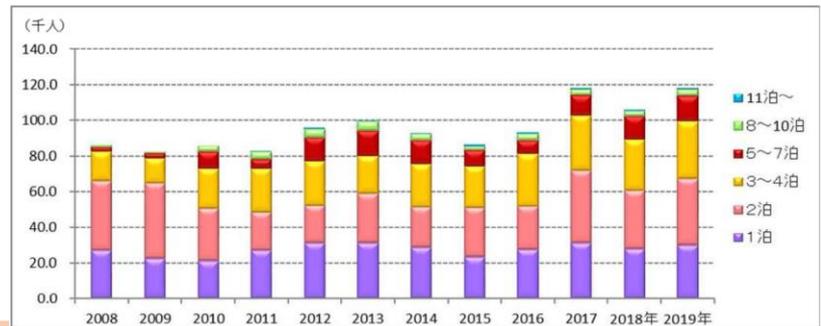
外航・内航クルーズを利用する日本人乗客数の推移



外航クルーズを利用する日本人乗客数の泊数別乗客数の推移



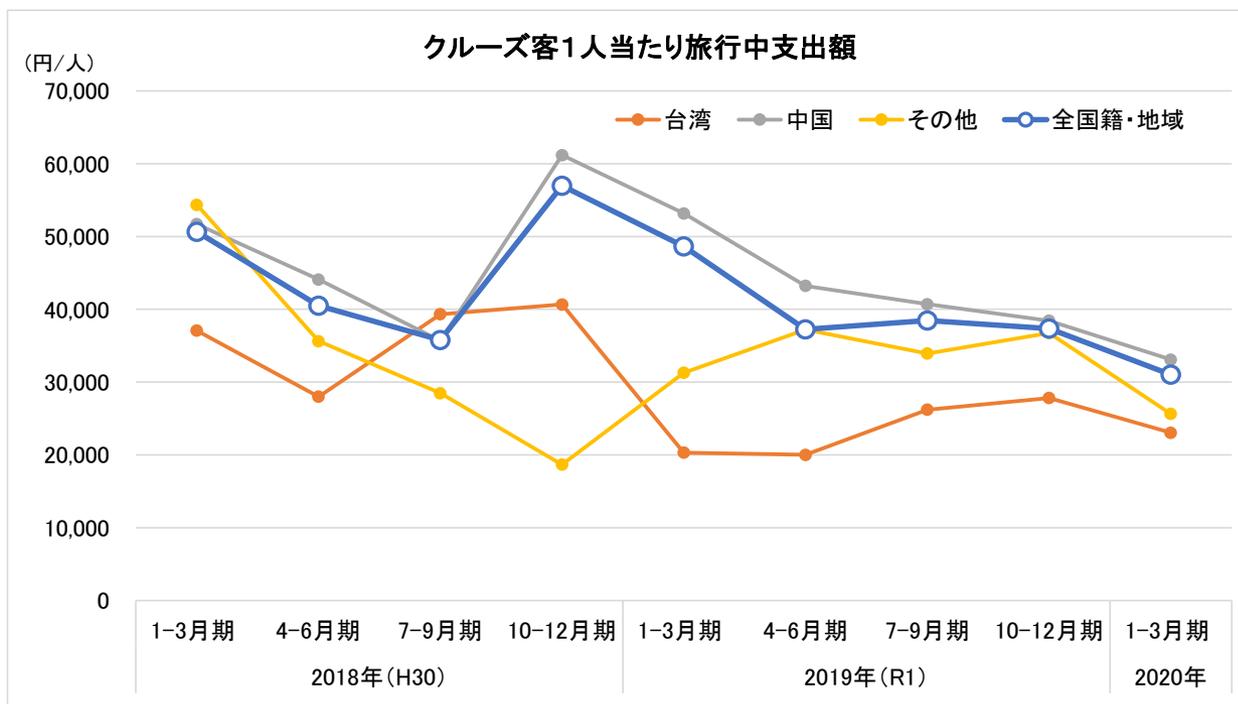
国内クルーズの泊数別乗客数の推移



【参考7】 国内外におけるクルーズ船の市場動向③

■クルーズ客1人当たり旅行中支出額の推移

- ・観光庁が実施する「訪日外国人消費動向調査」報告書によると、クルーズ船の国内寄港が活況を呈していた2018年からコロナ前の2020年1～3月期までの四半期毎に集計したクルーズ客1人あたり旅行中支出額は以下のとおりである。
- ・時期や旅行客の国籍により変動が見られるが、平均的にみると**30,000～60,000円/人**の間で推移している。



■クルーズ客1人当たり旅行中支出額(国籍・地域別)

(単位:円/人)

	2018年(H30)				2019年(R1)				2020年
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
全国籍・地域	50,662	40,501	35,788	56,951	48,631	37,244	38,473	37,352	31,019
台湾	37,081	28,004	39,327	40,671	20,317	20,017	26,221	27,823	23,062
中国	51,698	44,099	35,693	61,183	53,170	43,227	40,710	38,435	33,102
その他	54,344	35,638	28,490	18,674	31,297	37,210	33,929	36,758	25,642

注1)クルーズ客:船舶観光上陸許可を受けて日本に特例上陸した外国人の人数(法務省「出入国管理統計」)

注2)その他:国籍・地域毎で標本サイズが不十分な場合は「その他」国籍に統合している。

資料:「訪日外国人消費動向調査 報告書」(観光庁)より作成

【参考8】 我が国におけるクルーズ船の寄港特性①

■ **国際旅客船拠点形成港湾（官民連携による国際クルーズ拠点）** について

・現在、国土交通省は、クルーズ船の受入環境の整備の取組の一環として、クルーズ船社による旅客施設等に対する投資と国や港湾管理者による受入環境の整備を組み合わせ、短期間で効果的な国際クルーズ拠点の形成を図るため、**旅客ターミナルビル等に投資を行うクルーズ船社に岸壁の優先的な使用を認める制度**により、これまでに横浜港、清水港、佐世保港、八代港、本部港、平良港、鹿児島港、下関港、那覇港の計9港を「**国際旅客船拠点形成港湾**」に指定している。

「国際旅客船拠点形成港湾」として指定する港湾

船社名 \ 港湾名 (港湾管理者)	横浜港 (横浜市)	清水港 (静岡県)	佐世保港 (佐世保市)	八代港 (熊本県)	本部港 (沖縄県)	平良港 (宮古島市)	鹿児島港 (鹿児島市)	下関港 (下関市)	那覇港 (那覇港管理組合)
カーニバル・コーポレーション&plc	○		○			○			
ロイヤル・カリビアン・クルーズ*				○			○		○
ゲンティン香港		○			○				
郵船クルーズ	○								
MSCクルーズ*								○	○

外航クルーズ船の受入拠点の形成の推進

・クルーズ旅客の受入環境整備に関する事項を「港湾法の基本方針」等に位置づけ（7月8日施行）

① 受入拠点の形成を図る港湾を国が指定

官民の連携により外航クルーズ船の受入拠点の形成を図る港湾を国土交通大臣が指定

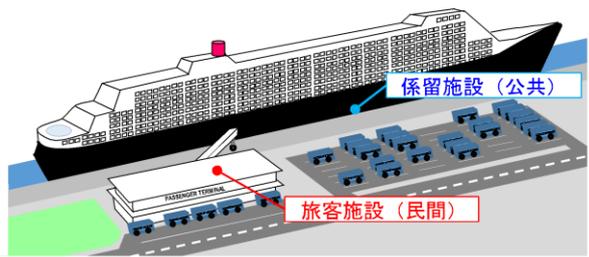
② 港湾管理者が受入拠点の形成のための計画を作成

官民の連携により外航クルーズ船の受入拠点を形成するための計画を港湾管理者が作成。同計画に基づく工事の許可等の特例

③ 港湾管理者が民間事業者と協定を締結

港湾管理者と施設所有者である民間事業者が、係留施設の優先的な使用、旅客施設の一般公衆への供用等に関する協定を締結

＜官民の連携による拠点形成のイメージ＞



＜係留施設の優先的な使用のイメージ＞

係留施設を優先的に使用するA社による予約例

月	火	水	木	金	土	日
	A社		A社		A社	



A社の予約完了後、その他の社が予約

月	火	水	木	金	土	日
B社	A社	C社	A社		A社	

港湾法の一部を改正する法律(平成29年7月8日施行)の概要

(出典)「新たに下関港と那覇港を国際旅客船拠点形成港湾に指定(H31.4.19)」国土交通省港湾局資料より抜粋

【参考8】我が国におけるクルーズ船の寄港特性②

■ 仙台塩釜港のクルーズ船寄港予定（2023年）

・クルーズ船の寄港が再開し、令和4年11月の石巻港区への「ぱしふいっくびいなす」、令和5年5月の仙台港区への「セブンシーズエクスプローラー」、直近では令和5年8月3日の石巻港区への「MSCベリッシマ」が寄港し、**今年は延べ12隻の寄港が予定**されている。

R4.11.3 ぱしふいっくびいなす（石巻港区）



大漁旗でお出迎え

ふ頭内に設置された
物産販売コーナー

R5.5.7 セブンシーズエクスプローラー（仙台港区）



R5.8.3 MSCベリッシマ（石巻港区）



▽ 2023年のクルーズ船寄港予定:延べ12隻(仙台延べ7隻・石巻延べ5隻)

港区	係留	船名(寄港数)	入港	出港	
仙台 (7隻)	高松2号 又は 中野1号	飛鳥Ⅱ(1隻)	10/11(水) 8:00	10/11(水) 16:00	
		シーニック・エクリプス(1隻)	7/11(火) 12:00	7/11(火) 19:00	
		レガッタ(1隻)	10/27(金)8:00	10/27(金)17:00	
	高松2号	にっぽん丸(1隻)		7/8(土)9:00	7/8(土)17:00
				7/13(木)14:30	7/13(木)17:00
		セブンシーズ・エクスプローラー(2隻)		5/7(日)7:00	5/7(日)16:00
				10/7(土)9:00	10/7(土)17:00
	ノルウェージャン・ジュエル(1隻)	10/18(水)7:00	10/18(水)14:00		
石巻 (5隻)	大手1・2号	にっぽん丸(2隻)	9/20(火)9:00	9/20(火)17:00	
			10/31(火)8:00	10/31(火)13:00	
	雲雀野中央1・2号	パシフィック・ワールド(1隻)	7/30(日)10:00	7/30(日)21:00	
			MSCベリッシマ(2隻)	8/3(木)12:00	8/3(木)20:00
				11/22(水)7:00	11/22(水)16:00

※赤字が外国クルーズ船 ※2 灰色セルは寄港済のクルーズ

【参考8】 我が国におけるクルーズ船の寄港特性③

■ **世界に就航するクルーズ船（国内船社・海外船社）**
 ・「クルーズ客船データブック」に掲載された主要なクルーズ船は約56社であり、そのうち国内船社は4社である。
 ・**ロイヤル・カリビアン・インターナショナル、カーニバル・クルーズ・ライン、MSCクルーズの3社は20隻を超えるクルーズ船を保有している。**

国内外クルーズ船社別の保有船舶隻数

内外	船社名	保有隻数	代表船舶		仙台塩釜港寄港有無 (2023年寄港予定含)	内外	船社名	保有隻数	代表船舶		仙台塩釜港寄港有無 (2023年寄港予定含)
			船名	総トン数					船名	総トン数	
国内船社	商船三井クルーズ	1	にっぽん丸	22,472	○	海外船社	フェニックス・ライゼン	4	アーピア	184,000	
	日本クルーズ客船	1	ばしふいっくびいなす	26,594	○		ヴァージン・ポヤージ	3	ヴァリアント・レディ	108,192	
	郵船クルーズ	1	飛鳥II	50,444	○		シークラウド・クルーズ	3	シークラウド・スピリット	5,431	
	せとうちクルーズ	1	ガンツウ	3,013			スター・クリッパーズ	3	ロイヤル・クリッパー	4,425	
海外船社	ロイヤル・カリビアン・インターナショナル	27	ワンダー・オブ・ザ・シーズ	236,857		CSSCカーニバルクルーズシッピング	2	コスタ アトランチカ	85,861		
	カーニバル・クルーズ・ライン	24	カーニバル・セレブレーション	181,800		エメラルド・ヨットクルーズ	2	エメラルド・サカラ	5,175		
	MSCクルーズ	22	MSCベリッシマ	171,598	○	クリスタル・クルーズ	2	クリスタル・セレニティ	68,870		
	ノルウェー・クルーズライン	19	ノルウェー・ジュエル	93,502	○	サガクルーズ	2	スピリット・オブ・ディスカバリー	58,119		
	セレブリティクルーズ	15	セレブリティ・ミレニアム	91,011	○	シードリーム・ヨットクラブ	2	シードリームII	4,333		
	プリンセス・クルーズ	15	ダイヤモンド・プリンセス	115,906	○	シーニック・クルーズ	2	シーニック・エクリプス	17,545	○	
	コスタクルーズ	13	コスタ・スカパーナ	186,364		セレスティアル・クルーズ	2	セレスティアル・オリンピア	37,773		
	ポナン	12	ル・コマندان・シャルコー	31,283		バイキング・エクスペディション・クルーズ	2	バイキング・ポラリス	30,500		
	シルバークルーズ	11	シルバー・ノバ	54,700		ピースボートクルーズ	2	パシフィック・ワールド	77,441	○	
	ホーランド・アメリカ・ライン	11	ロッテルダム	99,935		TUIクルーズ	1	メイン・シフ5	98,785		
	バイキング・オーシャン・クルーズ	9	バイキング・オリオン	47,861		アイーダ・クルーズ	1	アイーダ・ベラ	69,203		
	オーシャンシアクルーズ	7	レガッタ	30,277	○	アストロ・オーシャン・クルーズ	1	ピアノ・ランド	69,840		
	シーボーン・クルーズ	7	シーボーン・アンコール	41,865		アトラス・オーシャン・ポヤージ	1	ワールド・ナビゲーター	9,923		
	フッティル・テン	7	フリチョフ・ナンセン	21,765		エクスペローラ・ジャーニーズ	1	エクスペローラ I	63,900		
	P&Oクルーズ	6	アイオナ	184,089		クリスタル・エクスペディション・クルーズ	1	クリスタル・エンデバー	20,449		
	ウインドスター・クルーズ	6	ウインド・サーフ	14,745		ザ・リッツカールトン ヨットコレクション	1	エブリマ	25,401		
	リージェント セブンシーズクルーズ	6	セブンシーズ エクスプローラー	55,254	○	ザ・ワールド	1	ザ・ワールド	43,188		
	ディズニー・クルーズライン	5	ディズニー・ウィッシュ	144,000		スワンヘレニック・クルーズ	1	SH ミネルバ	10,617		
	ハバグロイド・クルーズ	5	オイローパ2	42,830		フォアシー・クルーズ	1	チャーマング	77,499		
	アザマラ	4	アザマラ・オンワード	30,312		フレッド・オルセン・クルーズ・ライン	1	ボレアリス	61,849		
	キューナード・ライン	4	クイーン・メリー2	149,215		ヘリテージ・エクスペディション	1	ヘリテージ・アドベンチャー	8,445		
	クォーク・エクスペディションズ	4	ウルトラマリ	13,827		ポール・ゴージャン・クルーズ	1	ポール・ゴージャン	19,170		
	スタークルーズ	4	スーパースター・アクエリアス	51,309		チャイナ・マーチャント・バイキング・クルーズ	1	チャイナ・マーチャント・アデン	47,842		
	ドリームクルーズ	4	グローバルドリーム	201,000		渤海クルーズ	1	チャイニーズ・タイシャン	24,427		
合計：56社（国内4社、海外52社）、297隻（国内4隻、海外293隻）											

※仙台塩釜港に寄港した或いは寄港予定のクルーズ船以外は、各船社が保有する最大総トン数の船舶を代表船舶として記載した。

【参考8】我が国におけるクルーズ船の寄港特性④

船名	船種	GT	全長 (m)	喫水 (m)
MSC ベリッシマ	クルーズ船	171,598	315.8	8.8
PAGNA	PCC船	47,057	182.9	8.8
FAIRY ISLAND	バルク船	12,327	140.0	8.8

クルーズ船は、同程度の喫水の貨物船に比べて船体
が大きく、船長は2倍以上の長さを有する。

○短期間かつ低コストで寄港を可能とするため、既存の貨物船用バースを改良してクルーズ船に対応。

課題

クルーズ船は、同程度の喫水の貨物船に比べ、

- ①風圧面積が広い
→既存岸壁の防舷材や係船柱では、安全な着岸・係留は困難
- ②船長が長い
→延長不足によりクルーズ船を係留できない岸壁が存在



対策①

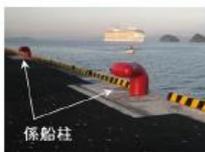
■防舷材、係船柱の整備を推進

<八代港>

平成26年12月 現地着手(事業費:約2億円)
平成27年 6月 完了、'ホイジャー・オブ・ザ・シーズ'
(最大定員4000人)寄港



寄港増に対応し、平成28年度末までに防舷材等を整備し、大型クルーズ船の寄港に対応(事業費:約3億円)

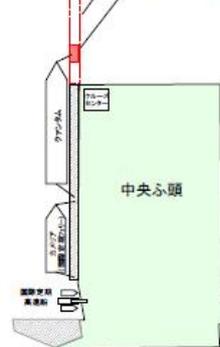


対策②

■ドルフィン・棧橋等により岸壁延長不足に対応し、最大級のクルーズ船の寄港に対応

<博多港>

ドルフィン・棧橋(平成30年夏までに供用予定)
棧橋の一部(平成29年度4月に部分供用)



棧橋の一部を部分供用し、アジア最大級のクルーズ船の寄港に対応

平成29年度4月に約16万トンのクルーズ船(アジア最大)対応のため部分供用

平成30年夏までに約22万トンのクルーズ船(世界最大級)対応のため供用予定

【参考9】クルーズの定義・カテゴリー構造

【クルーズの定義】

- ①船に乗ることそのものが旅行の主目的及び目的地の一つであること
- ②航空機・鉄道などの代替・振替の輸送機関としての船旅ではないこと
- ③船内でのレジャーや滞在、洋上ライフを楽しむことが乗船の主目的であること
- ④原則として船内での宿泊が伴うこと

※クルーズアドバイザー認定委員会「クルーズ教本(H26年版)」より作成



世界のクルーズマーケットの構造とカテゴリー別寄港割合

- ・クルーズは、価格やサービスによって「ラグジュアリー」、「プレミアム」、「カジュアル」などのタイプに分類されており、カジュアルクラスがマーケット全体の約8割を占めている。
- ・日本への寄港回数に関するマーケット別の割合は、ラグジュアリーが約11%、プレミアムが約44%、カジュアルが約45%となっている。

我が国へのクルーズ船のカテゴリー別寄港割合

カテゴリー	寄港回数	割合
ラグジュアリー	225	11%
プレミアム	882	44%
カジュアル	910	45%
合計	2,017	100%

世界のクルーズマーケットのイメージ (乗客定員ベース)

ラグジュアリー(フティック※・探検船等含む)

10泊以上のクルーズ中心

1泊: \$400~

年齢層: 50代以上、

タイプ: リタイア、アニバーサリー

約4%

プレミアム

7泊以上のクルーズ中心

1泊: \$200~

年齢層: 30代以上

タイプ: 熟年以上、リタイアしたカップル、友人、ハネムーン

約16%

カジュアル

3~7泊のクルーズ中心

1泊: \$70~

年齢層: 20代以上、

タイプ: 現役~熟年、友人、ファミリー

約80%

※小型の豪華客船によるクルーズ。料金は1泊あたり600米ドル以上。

出典: クルーズ教本(平成28年版)(JOPA)より港湾局作成

※「国土交通省におけるクルーズ振興の取組について(平成29年6月9日)国土交通省港湾局」より抜粋

【参考10】クルーズ船から小型船舶乗り換えによる国内の寄港実績①

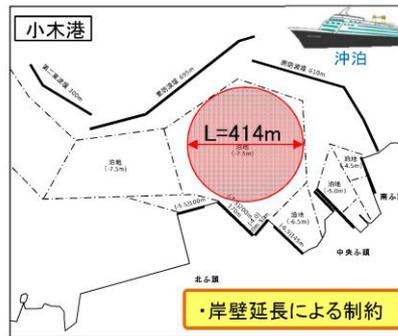
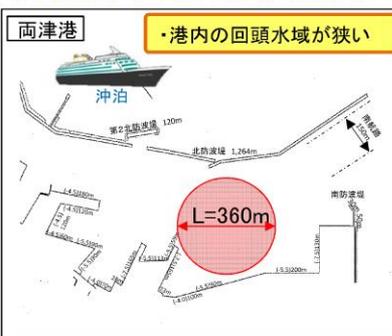
■佐渡島内（両津港・小木港）クルーズ船沖泊実績

・佐渡島内へのクルーズ船寄港数は増加しているが、既存岸壁の岸壁延長等の制約から、沖合に停泊し小型船に乗り換えて上陸している。
 ・H26.5 に小木港に寄港した「ばしふいっく・びいなす」は、**沖合約1km付近**に停泊。乗客は作業台船を介して通船を利用。

○佐渡へのクルーズ船の寄港実績(H28予定)

年	船名	総トン数 (GT)	船長 (m)	喫水 (m)	港湾名
H26 実績 3隻 4回	カレドニアスカイ	4,200	90.6	3.6	二見港
	にっぽん丸	22,472	166.6	6.6	両津港 (沖泊)
	ばしふいっく・びいなす(2回)	26,594	183.4	6.5	小木港 (沖泊)
	カレドニアスカイ	4,200	90.6	3.6	小木港
H27 実績 4回	ロストラル	10,944	142.1	4.8	二見港 (沖泊)
	プレーメン	6,752	111.5	4.6	二見港 (沖泊)
	シルバーディスカバー	5,218	103.0	4.3	二見港
H28 予定 5隻 8回	カレドニアスカイ(2回)	4,200	90.6	3.6	小木港
	ル・ソレアル	10,992	142.1	4.7	小木港 (沖泊)
	にっぽん丸(2回)	22,472	166.6	6.6	両津港 (沖泊)
	飛鳥II(2回)	50,142	241.0	8.0	両津港? (沖泊)
	シルバーディスカバー	5,218	103.0	4.3	二見港?

○両津港、小木港 港内回頭水域



「にっぽん丸」(H26.9)
両津港寄港時の状況



・小型船で岸壁に着き、上陸するが、岸壁が高く危険な状況

「ばしふいっく・びいなす」(H26.5) 小木港寄港時の状況



作業台船を介して小型船へ



小型船に乗り換え港内へ



港内施設に着岸し島内観光へ

7

※第48回 新潟県地方港湾審議会（両津港・小木港）資料より抜粋

■下田港クルーズ船沖泊実績（「ル・ソレアル」ポナン社）

・H26.5 に下田港に寄港した「ル・ソレアル」は、**沖合約1.5km付近**に停泊。
 ・乗客は本船後部の乗降口よりテンドーボートに乗り換え上陸。

【下田港内に停泊するル・ソレアル】



【テンドーボート着船の状況】



《テンドーボートの運航範囲：3海里》



※写真は中部地方整備局資料（H28.4.8）「下田港史上初！クルーズ客船入港」より抜粋

【参考 1 1】スーパーヨット・メガヨットの国内外の動向

■スーパーヨットの定義・船型動向

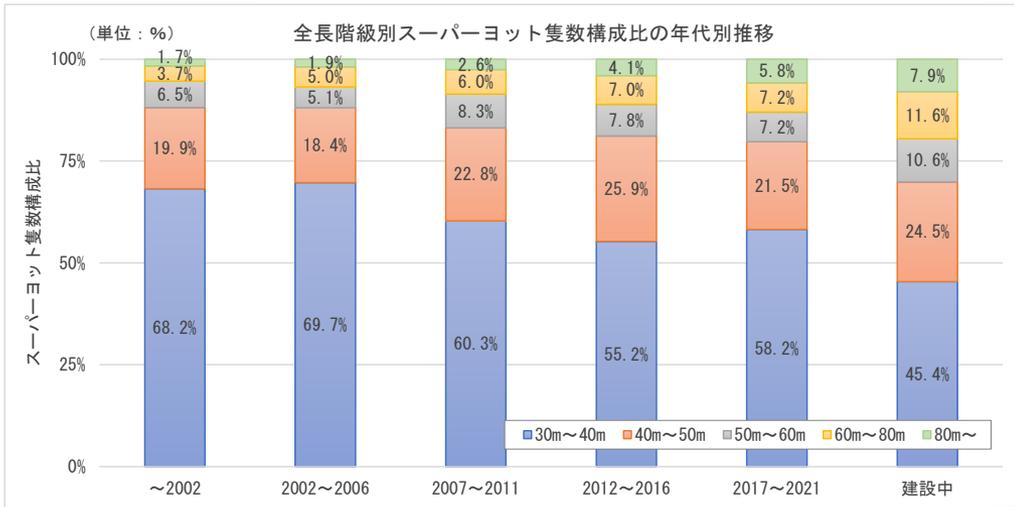
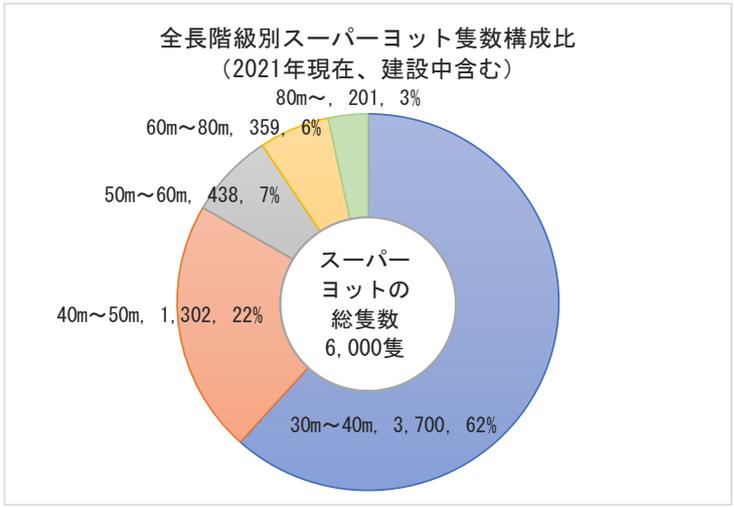
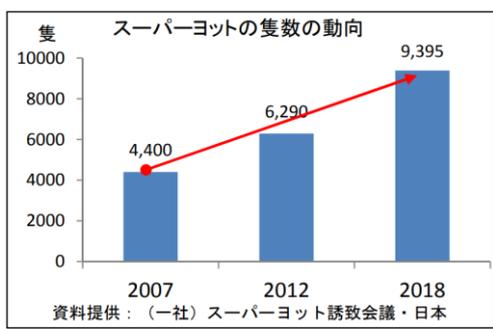
- 一般的に外国人富裕層などが個人で所有する**全長80フィート以上（24m以上）の大型クルーザーが「スーパーヨット」**あるいは**「メガヨット」**と呼ばれている。（国土交通省「スーパーヨットの概要」より）
- 世界に就航する全長30m以上のスーパーヨットのうち**30m～50mの船舶の占める割合が高く**、2021年時点で全体の84%を占める。近年建造されているスーパーヨットでは、**50mを超える大型のスーパーヨットが占める割合が伸びている**。



※ICOMIA（国際舟艇工業会）によると、全長24m～50mの規模の大型クルーザーを「スーパーヨット」、全長50m以上の大型クルーザーを「メガヨット」と呼んでいる。



※「スーパーヨットの概要」国土交通省資料より抜粋

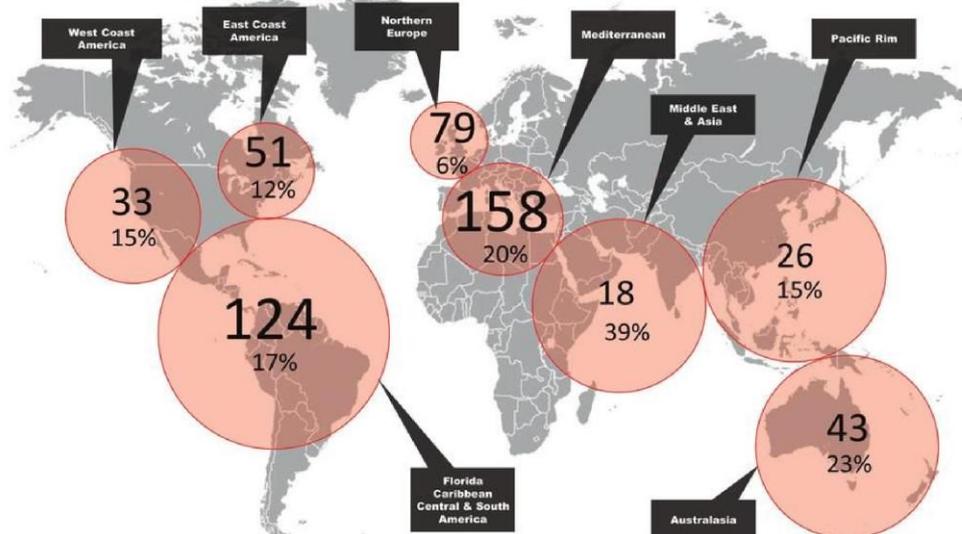


【参考 1 1】スーパーヨット・メガヨットの国内外の動向

■スーパーヨットの受入施設の動向

- ・スーパーヨットが寄港可能なマリーナ等の受入施設は、世界に約530箇所存在することが示されている。
- ・カリブ海・フロリダ・中南米と北ヨーロッパ、地中海の上位3地域で全体の約7割を占める状況となっている。日本の位置する環太平洋は約5%の比率と低い水準を示している。

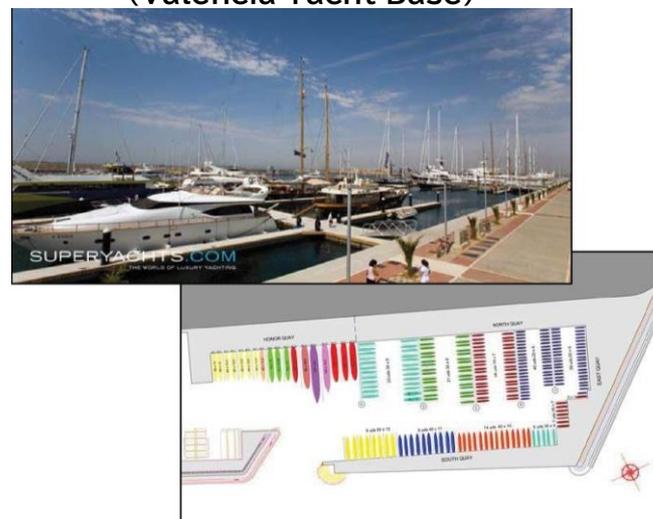
世界のスーパーヨット受入施設の分布状況



順位	地域	スーパーヨットの受入施設数	比率
1	地中海	158	30%
2	フロリダ・カリブ海・中南米	124	23%
3	北ヨーロッパ	79	15%
4	アメリカ東海岸	51	10%
5	オセアニア	43	8%
6	アメリカ西海岸	33	6%
7	環太平洋(東アジア)	26	5%
8	中東・アジア	18	3%
	合計	532	100%

※図中の施設数と比率の関係性の整合が取れていないため、施設数を正として表を整理

スーパーヨット受入拠点レイアウトのイメージ (Valencia Yacht Base)



資料: 清水港長期構想検討委員会第1回委員会説明資料(平成30年11月)

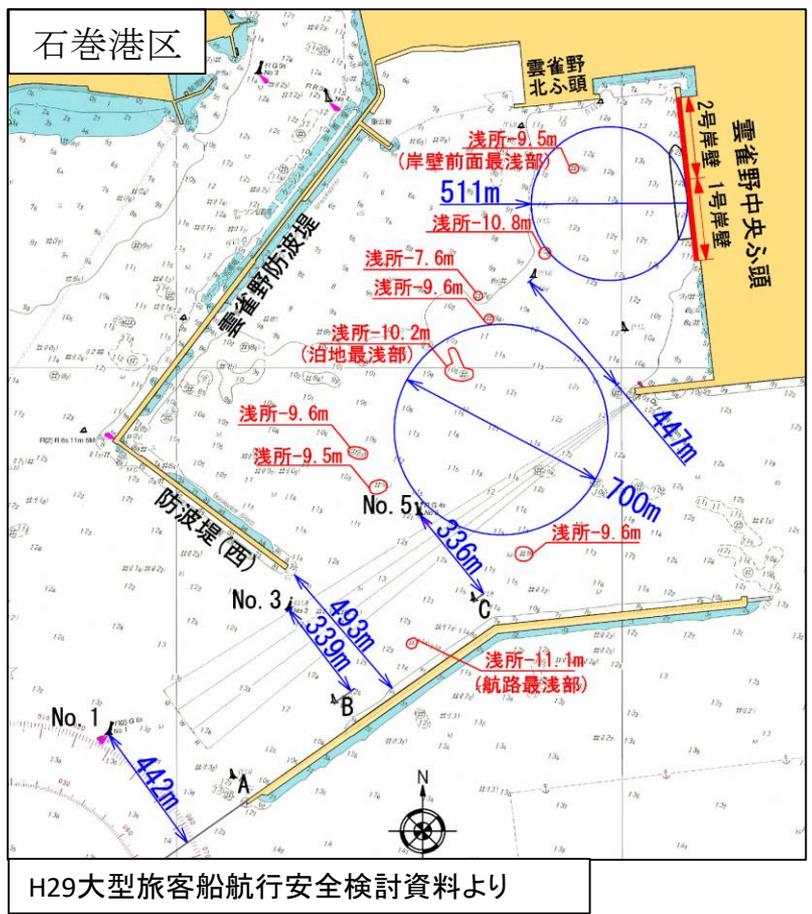
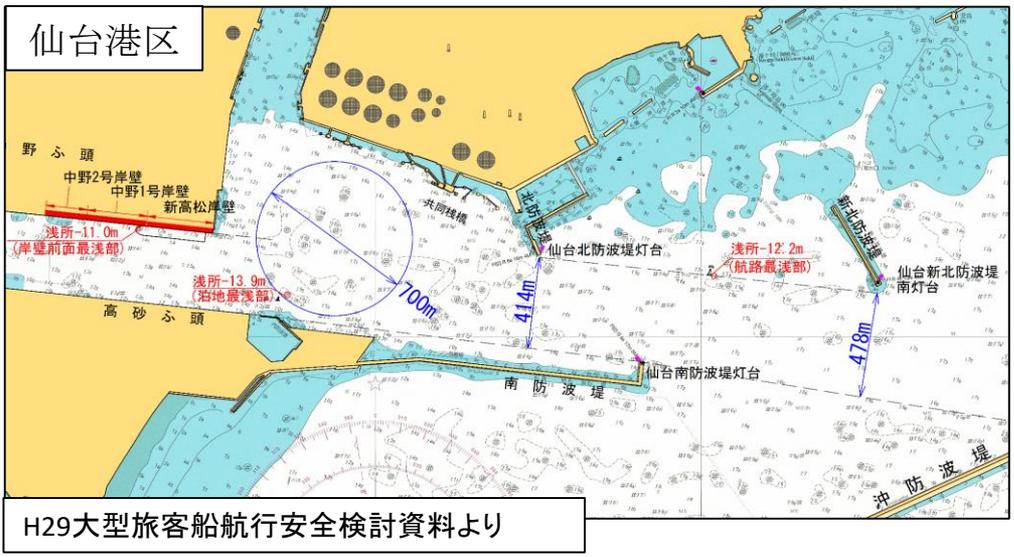
沖縄県与那原マリーナにおける受入拠点整備



①国内外クルーズ船の動向

【参考 1 2】 仙台塩釜港における回頭水域・航路幅

- ・回頭水域として対象船舶の全長Lの2Lを直径とする円の大きさが必要
- ・航路幅員Wとして対象船舶の全長0.5L以上の幅が必要

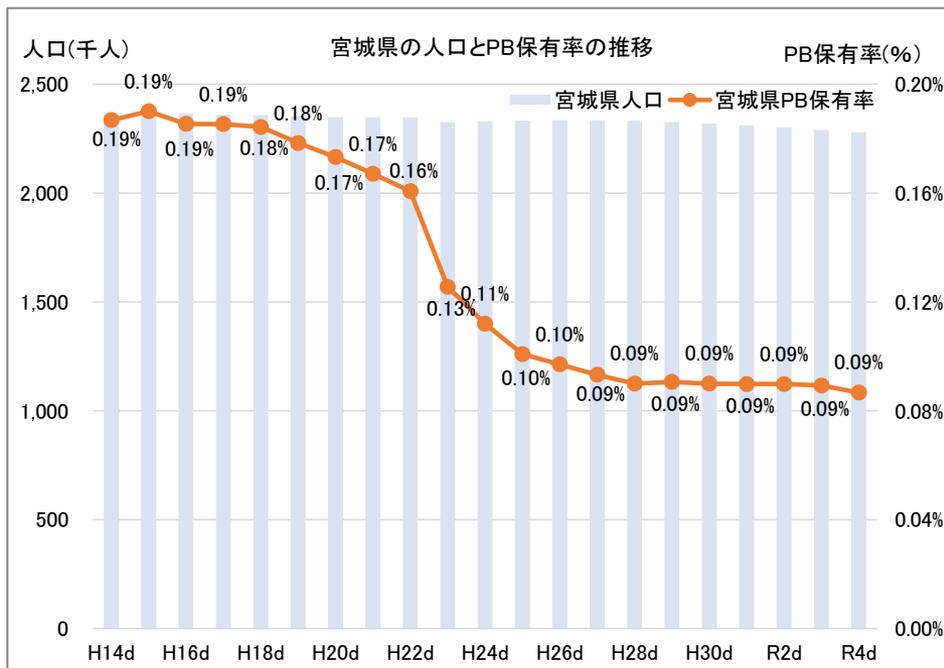
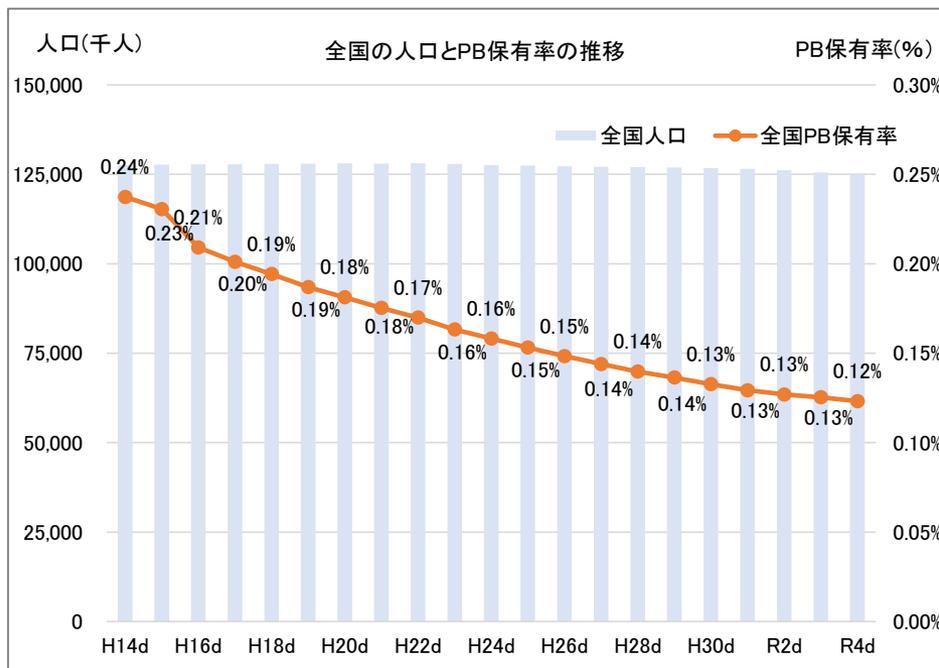


港区	回頭水域 (2L確保)	航路幅 (0.5L確保)	寄港可能な船舶全長L
仙台港区	700m	414m	350m
石巻港区	700m	336m	350m

【参考 1 3】全国と宮城県のプレジャーボート保有率の推移

・全国・宮城県のプレジャーボート保有率の推移

- ・全国的には人口がほぼ横ばいに推移している状況のなか、**プレジャーボートの保有率は全国的に右肩下がり**で減少傾向となっており、**令和4年時点では0.12%**まで減少した。
- ・**宮城県のプレジャーボート保有率も同様に減少傾向**となっており、**令和4年時点では0.09%**まで減少した。ただし、宮城県においては、**東日本大震災の復興が進む平成20年代後半からは横ばいに推移**している。



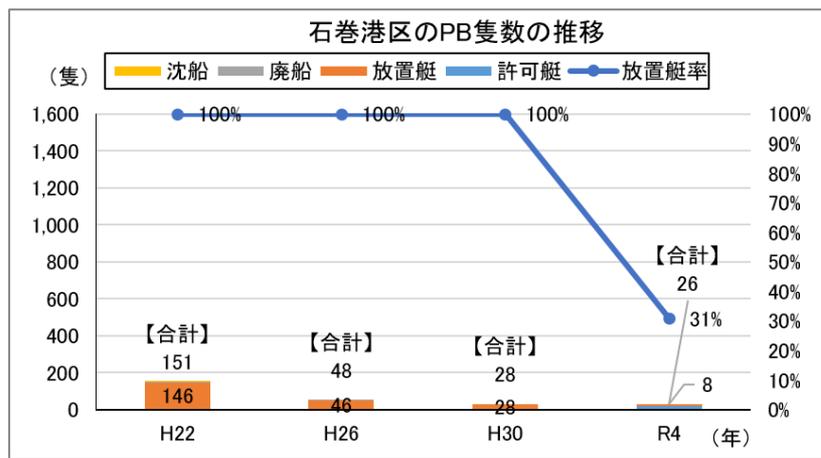
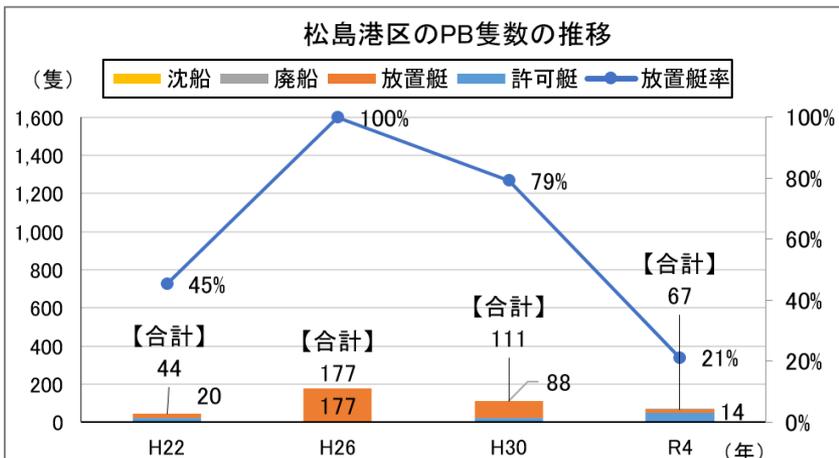
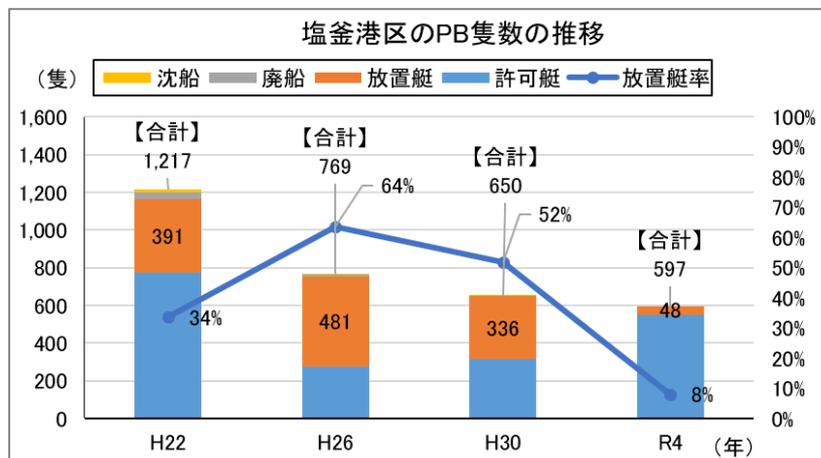
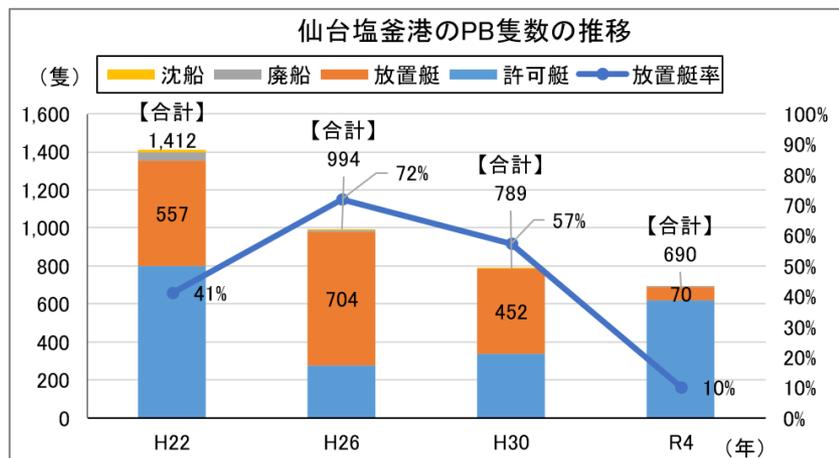
資料:PB隻数⇒「小型船舶統計 年度末における在籍船隻数(都道府県別・用途別)」日本小型船舶検査機構

資料:人口 ⇒「人口推計 各年10月1日現在人口」総務省統計局

【参考 1 4】 全国PB実態調査から見る仙台塩釜港のPB隻数・収容能力の推移①

・ 仙台塩釜港のプレジャーボート確認艇隻数・放置艇率の推移

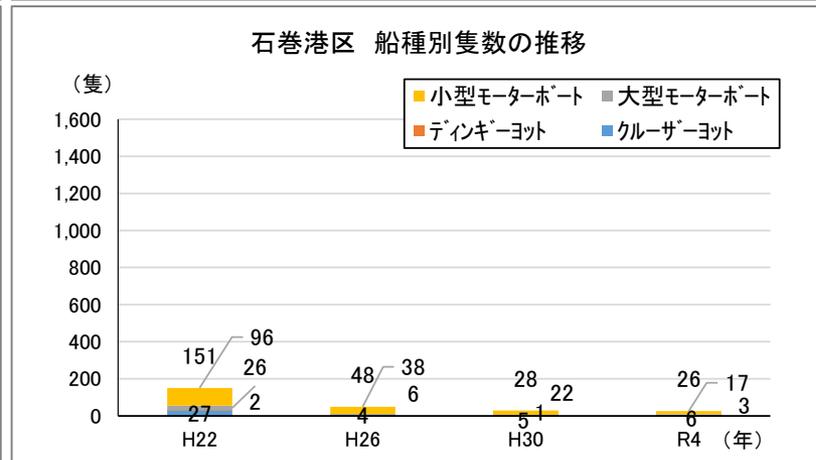
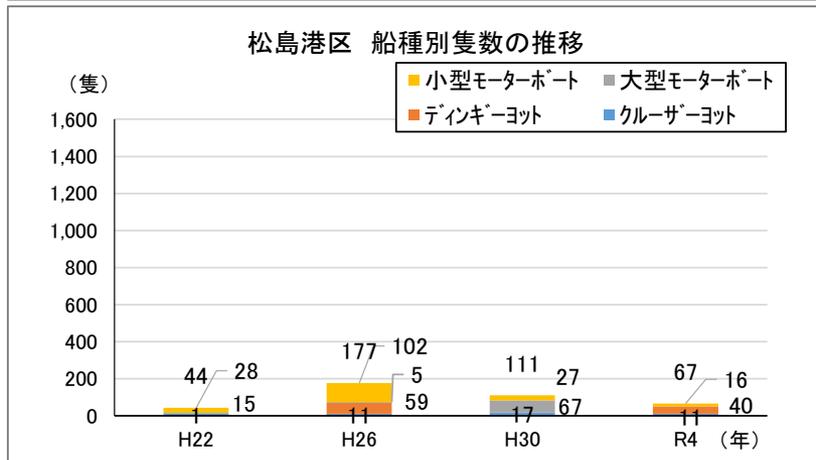
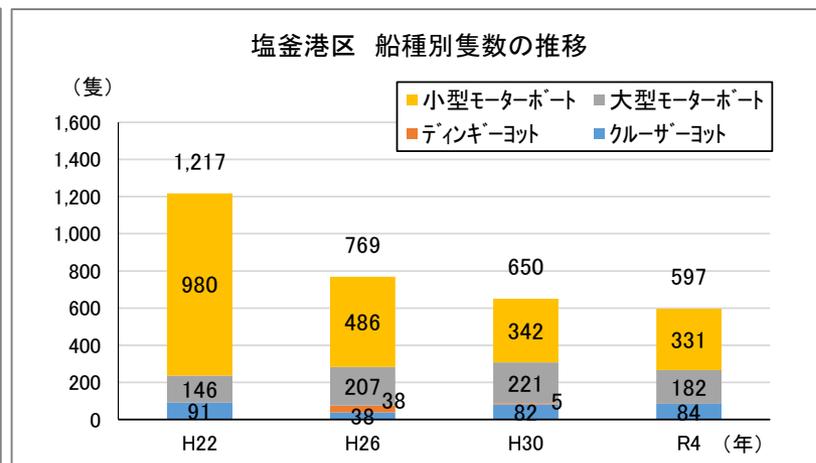
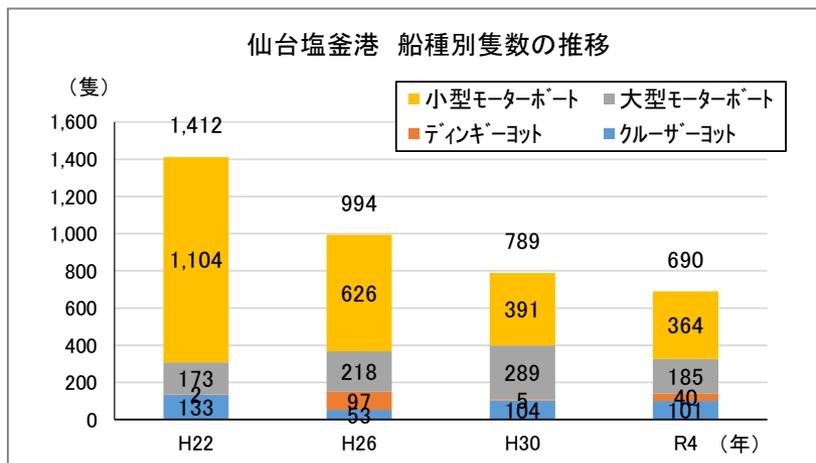
- ・ 仙台塩釜港の確認艇隻数は全港区で減少傾向となり、令和4年では690隻（対H22比で49%）まで減少した。
- ・ 仙台塩釜港におけるPBの放置艇率は、東日本大震災の発生後の平成26年調査時点に増加したが、平成26年以降の調査では**放置艇対策が進んだことで全港区で減少傾向**となっている。令和4年時点では**石巻港区が最も放置艇率が高く、約3割(8隻)が放置艇**となっている。



【参考 1 4】全国PB実態調査から見る仙台塩釜港のPB隻数・収容能力の推移②

・ 仙台塩釜港のプレジャーボート確認艇隻数の推移(船種別)

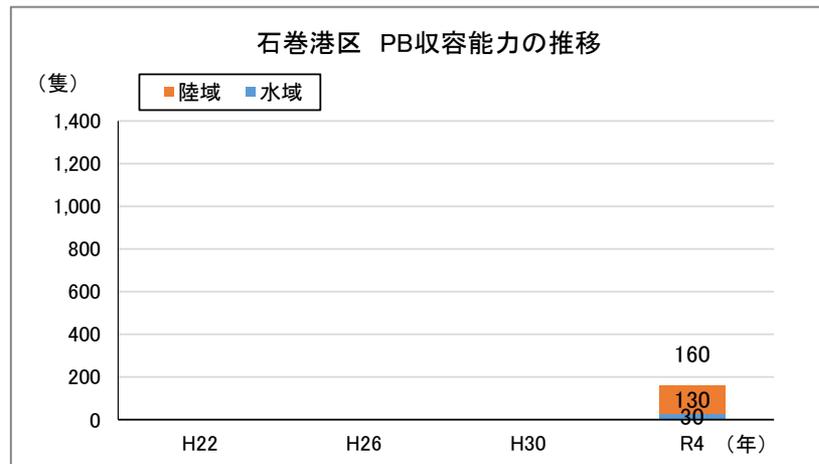
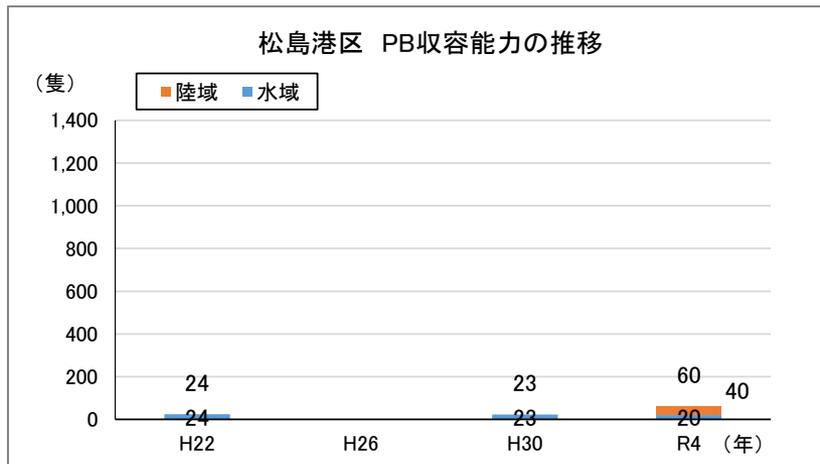
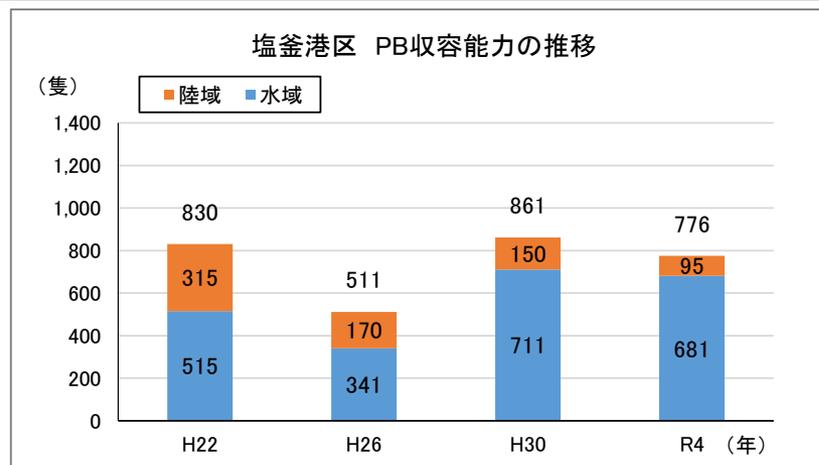
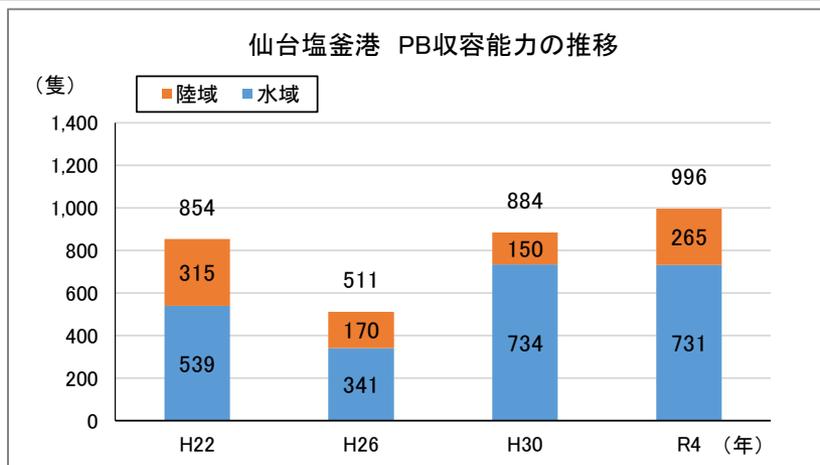
- ・ 仙台塩釜港の確認艇隻数を船種別に見ると、**小型・大型モーターボートの占める割合が高く**、**ディンギーヨットの占める割合が低い傾向にある。**(ディンギーヨットは大半が松島港区に存在する。)
- ・ **クルーザーヨットはPBの在籍隻数が最も多い塩釜港区に大半が収容**されている。



【参考 1 4】全国PB実態調査から見る仙台塩釜港のPB隻数・収容能力の推移③

・ 仙台塩釜港のプレジャーボート収容能力の推移

- ・東日本大震災の発生後の平成26年調査以降は仙台塩釜港の収容能力は増加傾向となり、令和4年には996隻まで増加した。ただし、塩釜港区では民間マリーナの収容能力の変動により、令和4年には減少傾向に転じる結果であった。
- ・石巻港区では南浜マリーナの整備により、令和4年の収容能力は160隻まで大幅に増加した。



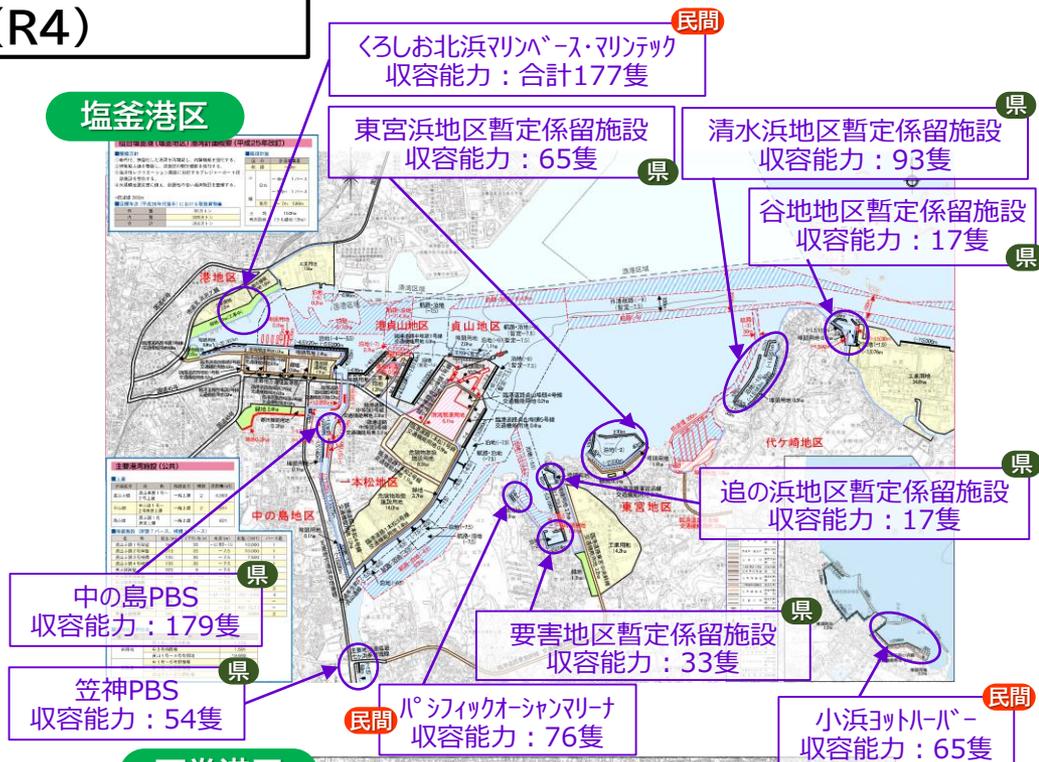
【参考14】全国PB実態調査から見る仙台塩釜港のPB隻数・収容能力の推移④

・ 既設プレジャーボート収容施設の収容能力(R4)

港区	管理	施設名	水域	陸域	合計
塩釜港区	県	中の島PBS	179	0	179
		笠神PBS ※	54	0	54
		要害地区 暫定係留施設	33	0	33
		追の浜地区 暫定係留施設	17	0	17
		東宮浜地区 暫定係留施設	65	0	65
		清水浜地区 暫定係留施設	93	0	93
		谷地地区 暫定係留施設	17	0	17
	民間	マリンテック	12	25	37
		パシフィックオーシャンマリーナ	76	0	76
		くろしお北浜マリンベース	70	70	140
		小浜ヨットハーバー	65	0	65
		塩釜港区 計	681	95	776
松島港区	県	松島ヨットハーバー	20	40	60
石巻港区	市	南浜マリーナ ※	30	130	160
		合計	731	265	996

※河川重複区域

資料:「係留・保管施設調査票/放置艇調査票」宮城県



【参考 1 5】PFIによるマリーナの整備事例

- ・プレジャーボートの放置艇問題解消のため、貯木場と周辺の物揚場、荷さばき地をマリーナへ整備した事例。平成15年に開業。
- ・プレジャーボートの係留保管施設のPFI事業※としては全国2例目。
- ・民間企業の経営手法や効率化の取り組みが導入されることで、公共施設の運営コストの削減や、利用者にとって安く優れた品質の公共サービスの提供が期待される。また、民間企業の参入や事業の活性化が促進され、雇用創出や地域経済の活性化などの経済的な効果が生まれる場合もある。

※PFI (Private Finance Initiative)

公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行う手法のこと。国や地方自治体を実施する場合と比較し、民間主体の実施にメリットがある場合に導入される。

ボートパーク広島(広島港吉島地区)



施設概要	水域面積 約83,600㎡	陸域面積 約16,900㎡
	泊地水深 -2m	駐車台数 約420台
	収容隻数 516隻	管理棟 約1,500㎡

※ボートパーク広島HP (<http://www.boatpark-hiroshima.co.jp/>) より作成

【参考16】プレジャーボート係留料金事例（県内公共・民間施設、他県マリーナ）

- ・仙台塩釜港内公共・民間施設の係船料金は、全長7～9m程度のクラスで中の島PBS（公共）が年間約7万円であるのに対して、民間施設の場合は年間30～40万円と約5倍の料金となっている。さらに、全長15mクラスでは年間80～90万円とサイズに比例した価格設定となっている。
- ・PFI事業で整備された「ポートパーク広島」においては、全長7mクラスで約22万円/年、全長15mクラスで約80万円/年と、仙台塩釜港内の民間施設と同水準である。なお、「横浜ベイサイドマリーナ」では全長15mクラスで約240万円/年となっている。

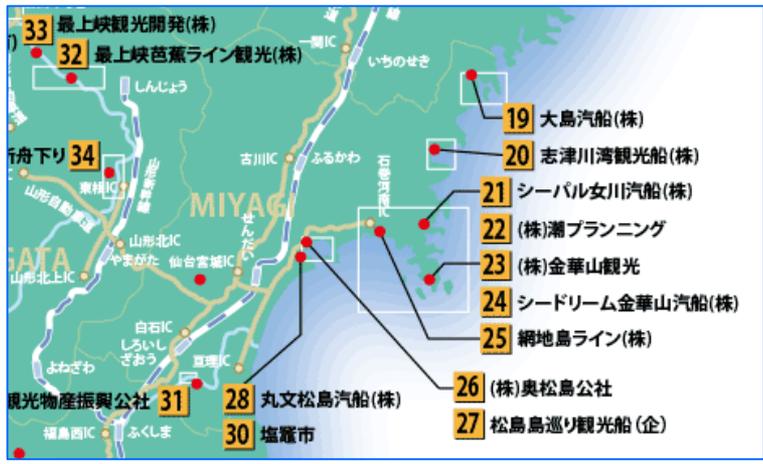
プレジャーボート係留料金事例（仙台塩釜港内公共・民間施設、他県マリーナ）

港名		管理	施設名	係留可能艇サイズ	年間係船料金 (円/年)	備考
仙台塩釜港	塩釜港区	県	中の島PBS	30フィート（全長最大9.6m）海上係留	69,720	宮城県HP 中の島PBS係留区画許可申請についてより
		民間	マリンテック	20フィート（全長6m）陸上保管	264,000	(株)マリンテックWebサイト 料金、対応ポート情報より
				29フィート（全長9m）海上係留	489,500	
		パシフィックオーシャンマリーナ	全長6.5mを超え7m以下	344,750	係留施設利用料金表（横係留）より	
	全長14.5mを超え15m以下		868,800			
	石巻港区	市	南浜マリーナ	22フィート（全長7m）	363,000	陸置施設使用料金表より （プレジャーボート・ヨット）
49フィート（全長15m）				808,500		
広島港	民間	ポートパーク広島	～8m（7m栈橋利用）	224,400	係留施設利用料金表より	
			13m～16m（陸電14m栈橋利用）	811,800		
横浜港	民間	横浜ベイサイドマリーナ	7.0m未満(全長)×2.5m未満(全幅)	346,500	水面係留区画利用料金表より (R5.4～)	
			15.0m未満(全長)×5.0m未満(全幅)	2,425,500		

（出典）各施設HP掲載の係留施設料金表等の情報をもとに、全長7m及び15mクラスの艇サイズを対象に整理したもの。

【参考 1 7】 県内観光遊覧船の動向

・宮城県内には塩釜－松島間や松島湾内、気仙沼湾を巡る観光遊覧船や離島航路のほか、河川や運河の周遊航路が就航している。



嵯峨溪遊覧



※(株)東松島観光物産公社Webサイトより抜粋



※「東北の船旅と遊覧船ガイド(東北旅客船協会)」Webサイトより抜粋

